

異常な行動が記録されている事例(その2)(平成19年3月21日~4月17日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
1	B-06026126	男性	10歳代	75mg		異常行動 意識消失	回復 回復	インフルエンザB型と診断。投与開始3日目未明、突然起床。玄関ドアの前で意識消失し転倒。意識消失は2~3分間。その間いれんは認めない。後頭部打撲。翌日、異常行動、意識消失回復。再受診時には、患者のその間の記憶はない。
2	B-06026130	男性	10歳代	50mg		異常行動 激越	回復 回復	インフルエンザB型。ウロウロ家の中を数回歩き回った。ウーと天井に向かって両手を突き上げ、手を握りしめた。その後ガラス戸を足で叩いて、ガラスを割ってしまった。左足を切つて、外科で縫合した。翌日は全て元に戻った。
3	B-06026296	女性	10歳代	150mg	塩酸セフカペンピボキシル ピロミド酸	発疹	不明	インフルエンザと診断し、リン酸オセルタミビル150mg/日投与開始。翌日夜になり徘徊・手の震えが15分続き、その後眠った。その翌日起きてからはそのようなことは無かった。また、夜から発疹が発症。
4	B-06026420	男性	10歳代	150mg		異常行動	回復	1回目服用約2.5時間後、異常な発言(「大きい石がのっている」)あり。2回目服用4時間後、起きてきて数回叫び、後退りし、手を取るがテーブルの上に乗る、その後、走り回り、母親が、押さえ込む。体温を測ろうとするが、体が硬直し、脇が占められない状態であった。また室内犬をかけた為、犬をゲージに入れるが、朝起きてなぜ犬が、ゲージの中に居るのか判らない状態であった。
5	B-06026444	男性	10歳代	75mg	プロピオン酸フルチカゾン モンテルカストナトリウム マレイン酸フルボキサミン プロマゼパム マレイン酸レボメプロマジン カルバマゼピン	異常行動	回復	リン酸オセルタミビル75mg内服2時間後「落ちつかない」「外へ出る」と外へ出ようとした。家人が気づき、手をつかむことにより外出は阻止できた。異常行動発現。3時間程落ちつかなかったが、ようやく就寝できた。
6	B-06026540	男性	10歳代	150mg		錯乱状態	回復	リン酸オセルタミビル服用3回目に精神錯乱。母親が止めるにもかかわらず何度もドアを開けて外に出ようとした。精神・神経障害発現。熱が下がってからは何事もなかったように回復。
7	B-06026629	女性	30歳代	150mg	スルピリン・アミノプロピロン 配合剤 塩酸リンコマイシン	意識消失 健忘 脱毛症	回復 回復 軽快	リン酸オセルタミビル服用3時間後、夜目が覚めて気がついたらトイレに行っていた。その間の記憶がない。
8	B-06026630	男性	10歳代	150mg	アセトアミノフェン	異常行動 転倒	軽快 軽快	インフルエンザBと診断され、昼と夜にリン酸オセルタミビル内服。突然2階にかけ上がった。母が追いかけてつかまえて1階に連れ戻したが、その後、もう一度2階にかけ上がり、母も追いかけたが間に合わず、ベランダへ出、飛び降りた。本人は飛びおりた時の記憶はない。 (4月4日安全対策調査会資料5-2、3月20日までの医療機関報告(精神神経症状)のNo.118に同じ)

異常な行動が記録されている事例(その2)(平成19年3月21日~4月17日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
9	B-06026663	女性	30歳代	150mg	炭酸リチウム バルプロ酸ナトリウム	毒物誘発脳症	軽快 軽快	インフルエンザB型と診断。リン酸オセルタミビル75mg投与後比較的早く、浮遊感が出現。マンション4階に居住しているがベランダから下をみるとあたかもすぐ近くに地面があるかのごとくの錯覚あり。 鳥の姿がみえるなどの幻視もあったが夫に止められ事なきを得た。
10	B-06026707	男性	40歳代	150mg	レバミピド セラペプターゼ ヒベンズ酸チペピジン 塩酸エピナスチン	意識レベルの低下	回復	A型インフルエンザの診断にて、リン酸オセルタミビル150mg/日処方。歩行中、自分の前後の記憶が一部飛んでるのに気付く。また、踏切の遮断機がおりているのに気付かず、踏切板が頭に当たって恐怖を感じる。
11	B-06026847	男性	40歳代	150mg		自殺企図	未回復	1日分処方1週間後、自殺未遂。首をつろうとしていたのを家族が発見。自殺未遂前に本剤内服していたかは不明。
12	B-06026848	女性	10歳代	75mg	麻黄湯 アズレンスルホン酸ナトリウム	自殺企図	未回復	本年3月19日、インフルエンザBと診断。リン酸オセルタミビル5日分等処方される。処方5日目(3月23日)朝、本剤75mg服用し、その後本剤の服用はしていない。 微熱は続いていたが、咳、痰はなかった。 3月25日朝より手首を傷つけたり、死にたいなどと口走るようになり、家族が気をつけていたが昼頃2階の窓より飛び降りて胸腰椎を骨折。 (4月4日安全対策調査会別冊資料1-2、3月21日以降の医療機関報告のNo.12に同じ)
13	B-07000057	男性	10歳未満	30mg		異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。 服用30分後、母親が目を離れた間に道路を全速力で走っており、家につれて帰った後はベランダの柵を越えようとしていた。 翌日、異常行動回復。
14	B-07000058	男性	10歳代	不明		異常行動	回復	2階へ急に上がって行き、飛び降りた。打撲程度。意識ははっきりしていた。 (4月4日安全対策調査会別冊資料1-2、3月21日以降の医療機関報告のNo.38に同じ)
15	B-07000063	男性	10歳代	150mg		異常行動	不明	ワクチン接種あり。インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル75mg、1日2回処方。2階の窓から飛び下りようとしたが、家族が止めた為、事故にはならなかった。 異常行動があったため、当院にて診療。 治療後も目が覚めると歩きまわる様になった。

異常な行動が記録されている事例(その2)(平成19年3月21日~4月17日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
16	B-07000065	女性	10歳代	75mg	臭化水素酸デキストロトルファン カルボシステイン 塩化デカリニウム アセトアミノフェン	異常行動	回復	発熱38℃、咳あり。インフルエンザB型治療のため、夕食後にリン酸セルタミビル75mg服用。 深夜、眠っていたが、突然起き上がって、部屋中を走り出したため、家族が制止した。目つきも怪しかった。異常行動発現。 異常行動回復。本剤服用中止。
17	B-07000066	男性	10歳代	75mg	クラリスロマイシン プラナルカスト水和物 カルボシステイン ヒベンズ酸チペピジン アセトアミノフェン	精神症状	回復	インフルエンザ抗原A型陽性のため、リン酸オセルタミビル処方。38~39℃台の発熱が続いていた。 夕方、本剤服用。夕食後自室で寝ていたところ、急に起き上がり、意味不明の発語あり、窓から外へ出ようとするため、母親が馬乗りになっておさえた。5~10分程で興奮状態がさめた。その後、同様の症状は出なかった。発熱による症状かと思いつくには連絡しなかった。本剤服用中止。
18	B-07000076	男性	50歳代	150mg	アセトアミノフェン ジアゼパム	異常行動 譫妄	不明 不明	インフルエンザ罹患3日前、糖尿病により右足を形成外科にて手術を受ける。入院。 高熱あり。診断キットにてインフルエンザA陽性のため、リン酸オセルタミビル75mg1日2回服用。 夜、ベッドから降りベッドの柵に頭を何度も打つ、その後、部屋から出ようとし看護師に制止されるが暴れまくる。 後に意識が回復し看護師が暴れていたことを伝えたところ当時の記憶はなかった。 服用開始3日目、本剤投与後再度、異常行動、せん妄がみられベッドの上に立つ等の行動があった。CTにて脳出血等の異常なし。腎不全の疑いもあり。異常行動はジアゼパムで鎮静。
19	B-07000077	男性	小児	150mg	フェンジゾ酸クロベラスチン 塩酸アンプロキソール イブプロフェン	異常行動	不明	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル75mg1日2回服用。 3.5時間後の深夜、突然起きだし、外に出る。父が追いかけて連れ戻した。
20	B-07000078	男性	10歳代	150mg	フマル酸エメダスチン カルボシステイン 塩酸エブラジノン	異常行動 幻覚	回復 回復	リン酸オセルタミビル服用開始。異常行動、幻覚発現。トイレに行くといって玄関の方へ歩いていくが家族によって制止され、その後眠った。 翌朝、服用後、トイレで母親が死んだというようなことを大声で叫び、頭をうち倒れたとこのこと。 翌々日、熱が引かないためセフトリアキソンナトリウム処方。全身状態は悪くないとのこと。
21	B-07000086	女性	10歳未満	120mg	ヒベンズ酸チペピジン フマル酸クレマスチン アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用2時間後、異常行動発現。急に起き上がり「トイレ、トイレ」とさげび部屋を走り回るためおさえる。5~6分続く。 翌朝、服用後、寝たままわけのわからないことを言うので、様子を聞くと「さわるな」と言ってあばれる。5~6分続く。 その後も服用は続けたが異常行動の発現なし。

異常な行動が記録されている事例(その2)(平成19年3月21日~4月17日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
22	B-07000087	男性	10歳代	75mg		異常行動	回復	インフルエンザB治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。夕方、洗面台の上に立ち上がり、自殺すると20分ほど叫ぶ等の異常行動発現。その後、リビングを駆けまわる。ピョンピョンとぶ。「もうダメだ、どうにもならない、外に出ないと」と興奮。発現4時間後、落ちつくが、本人は覚えていない。夢の中で何か興奮していたと本人は言っている。翌日、舌がマヒ。服用4日目、異常行動回復。
23	B-07000097	男性	10歳未満	75mg		幻覚	軽快	リン酸オセルタミビル服用開始。2回目服用後、深夜、幻覚が発現し、10数回、起き上がり逃げ回った。翌朝、投与中止。翌々日、幻覚は軽快。
24	B-07000102	不明	10歳代	不明	アセトアミノフェン	浮動性めまい 異常行動	回復 回復	インフルエンザに対し、リン酸オセルタミビル処方。服用3時間後、言動がおかしくなり、階段より転落し、上肢痙攣がみられた。救急車で受診するも、意識レベル回復し、画像上も異常所見なし。
25	B-07000106	男性	10歳未満	不明	カルボシステイン	激越	回復	午前中から39~40℃台の発熱があり、インフルエンザ抗原検査でA型陽性のため、リン酸オセルタミビル処方。服用1時間後、大声をあげて、一点を凝視した。その後、ぼーっとして入眠した。服用4時間後、大声をあげて、押さえつけていないと動き出そう暴れた様子で、救急車で当院救急外来に搬送された。来院時、意識は清明で興奮状態になかった。
26	B-07000108	女性	10歳代	75mg	非ピリン系感冒剤(4)	異常行動	回復	インフルエンザAに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。服用6時間後(1:30頃)、2階から突然飛び降りた。飛び降りた瞬間に意識が戻った。本人の申告では、ガラス窓と雨戸をあけて、戸外にとびおりたその瞬間に気づいたとのこと。服用8時間後(3:30頃)、家族が外に転落しているのを発見。翌朝、救急で搬送。CT、レントゲン異常みられず帰宅。(4月4日安全対策調査会別冊資料1-2、3月21日以降の医療機関報告のNo.73に同じ)
27	B-07000111	男性	10歳代	150mg	リン酸ベンプロペリン メキタジン ラマトロバン	異常行動	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用開始2日目朝、体温:38.8℃。夜中、異常行動あり、布団に座って「キャッシュが卒業して」と言いながら泣いている。就寝。その後、異常行動なし。服用開始3日目、インフルエンザ軽快。服用開始5日目、朝、38℃の発熱、夕、39℃。来院時37.4℃。B型インフルエンザと診断し、本剤処方。夕方、本剤服用。同日、夜中、トイレにこもる、階段の昇り降りを繰り返すなどの異常行動、異常言動が発現。その後、異常行動回復。

異常な行動が記録されている事例(その2)(平成19年3月21日~4月17日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
28	B-07000121	女性	10歳代	150mg	カルボシステイン d-マレイン酸クロルフェニラ ミン 臭化水素酸デキストロメル ファン	異常行動	回復	早期、39℃の発熱、鼻汁、咽頭痛、頭痛を認め、午前中来院し、A型インフルエンザと診断。同日、昼・夜、リン酸オセルタミビルを服用。服用2時間後、1階にいた家族の知らないうちに、2階より寝巻き裸足のまま家を出て、近くの家で保護されていた。落ちたのか飛び降りたのかは不明。本人は夢が怖くて窓のシャッターを開けベランダから外に出たといっているが、よく覚えていないとのこと。翌日は意識も清明で特に異常所見は認められなかった。(4月4日安全対策調査会別冊資料1-2、3月21日以降の医療機関報告のNo.121に同じ)
29	B-07000128	女性	10歳未満	33mg		異常行動	記載無し	A型インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル処方。同日夜、異常行動(急にかけだし意識消失して眼が上転し転倒)。翌日、トイレに行こうとして眼がうつろになってたおれた。
30	B-07000130	男性	10歳代	75mg	ロキソプロフェンナトリウム 塩酸セチリジン ヒベンズ酸チベピジン	異常行動	回復	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル投与。熱いと言い、ベランダに出ようとした。異常行動発現。異常行動回復。
31	B-07000131	女性	10歳代	65mg	クラリスロマイシン ヒベンズ酸チベピジン アセトアミノフェン カルボシステイン 臭化水素酸デキストロメル ファン	多幸気分 妄想 激越	回復 回復 回復	インフルエンザB型と診断され、親の希望でリン酸オセルタミビル処方。朝から服用開始。翌日、異常興奮発現。解熱。服用3日目、気分高揚、妄想発現。自宅のソファの背もたれの上に立ち上がってから、床に向かって顔から転落。口腔内から出血するなどした。受診後、帰宅途中にガードレールを越えて車に飛び込もうとしたため、ガードレール越しに祖母がつかまえたが、勢いがあり祖母が転倒して顔面打撲した。翌日、異常興奮、気分高揚、妄想回復。
32	B-07000153	男性	10歳代	150mg	プラノプロフェン 塩酸アンブロキソール エバステン	異常行動	回復	インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビルの服用を開始。2回目の服用後、同日、意識障害発現。翌朝、子ども部屋からのうめき声を母親が聞く。部屋に行ってみると当該患者がベッドで座位をとり、窓から身を乗り出してうめき声を発していた。しばらくして落ち着いたが、その後一人でトイレに行き、排尿をしている間に意識消失。2~3分程度継続。救急車により搬送される。到着時には、意識は回復。本人にそのときのことを確認すると、苦しい気がしたのでうめき声を発したが窓から身を乗り出していたことには記憶がないとのコメント。
33	B-07000156	女性	10歳代	150mg		異常行動	回復	インフルエンザを発症し、リン酸オセルタミビルを1回のみ服用。投与後2日目夜、異常行動(夜中急に走り出して倒れた)発現。
34	B-07000162	女性	10歳代	150mg		異常行動	回復	インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビルを投与開始。異常行動(飛び降り)発現。投与5日後、本剤投与終了。1ヵ月半後、回復。(4月4日安全対策調査会別冊資料1-2、3月21日以降の医療機関報告のNo.110に同じ)

異常な行動が記録されている事例(その2)(平成19年3月21日~4月17日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
35	B-07000163	男性	10歳代	100mg	ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン ブドウ糖 塩酸レセルピリン酸ジメチル アミノエチル	異常行動	回復	インフルエンザAと診断され、リン酸オセルタミビルを投与開始。同日昼、異常行動発現。本剤服用3時間後、2階に駆け上がり、黒いものに追いかけられ、イタイイタイと叫んだ。翌日、異常行動回復。投与4日後、本剤投与終了。
36	B-07000166	女性	10歳代	60mg		異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビルを処方され、同日夕方、1回内服するが症状なし。翌日朝、本剤内服。その2時間半後、体が熱い症状訴える。その後母親が目を放した際に一人で靴を履き玄関を出ようとしていた。患児の姉が気付き止めた為大事には至らなかった。本人は覚えていないとの事。症状が出たときは熱はまだ40℃ほどであった。本剤投与中止。同日、異常行動回復。
37	B-07000198	男性	10歳未満	60mg	アセトアミノフェン	譫妄	軽快	38.8℃の発熱があり、午後8時30分、リン酸オセルタミビルを内服し就寝。その後突然覚醒し異常な発言、再び入院したが次に目を覚ましたとき「行かなきゃ」と言って玄関に向かって行った。約30分後、せん妄状態発現。深夜0:00、救急車を要請し、救急車が到着した頃はほぼ普通にもどっていた。37.3℃。0:25、来院。来院時意識清明。せん妄状態軽快。
38	B-07000206	男性	10歳代	75mg	L-塩酸メチルシステイン カルボシステイン セフテラムピボキシル トラネキサム酸 プラノプロフェン トロキシピド ブドウ糖 硫酸イセパマイシン トラネキサム酸	異常行動	回復	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用後、寝ていたところ突然起き上がり、部屋中を手をゆさぶり歩き回るが、呼びかけには答えず。2~3分で落ち着いた。本剤服用中止。翌日、未明に突然起き上がり、上肢を1分程バタつかせるが、その後回復。
39	B-07000209	男性	青少年	150mg		異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用後、走行中の車からの飛び出し。異常行動発現。
40	B-07000215	男性	10歳代	不明		異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用後、かなり激しく動き回り、二階へかけ上がる等の異常行動発現。
41	B-07000218	男性	10歳代	75mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	リン酸オセルタミビル服用開始。服用2日目、ズボンを脱いで階段を昇り降りしながら、異常言動発現。当日、夕方に入院するが、症状なく、入院3日後に退院。

異常な行動が記録されている事例(その2)(平成19年3月21日~4月17日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
42	B-07000240	男性	10歳代	150mg		異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用3日目、暴れだし、階段から飛び降りようとするが、母親がせき止める。同日、本剤服用終了。服用終了3日目、異常行動回復。
43	B-07000244	女性	40歳代	150mg	非ピリン系感冒剤(4) カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン 鎮咳配合剤(1) ジクロフェナクナトリウム 酢酸リンゲル液(ブドウ糖加) (2-2)	錯乱状態	不明	インフルエンザAと診断。午後よりリン酸オセルタミビル服用開始。投与4日目、朝から何度も外出しようとして家族に連れ戻される。午後より、訳のわからないことを言いはじめる。投与5日目、錯乱状態。
44	B-07000259	男性	10歳代	75mg		異常行動	回復	B型インフルエンザと診断。夜、リン酸オセルタミビル服用後、就寝。翌朝、朦朧として起床、室内を徘徊し、突然、自宅2階ベランダの柵を越え飛び降りようとした為、母親が制止した。その後、意識回復したが異常行動の記憶はほとんど無い。
45	B-07000260	女性	10歳代	不明		幻覚	回復	3年前からリン酸押せるタミビル投与中に幻覚がみられた(過去には夜に一人で外をふらつく)。本年、インフルエンザ発症。リン酸オセルタミビル投与開始。翌日、幻覚を見てドアにぶつかり額に裂傷を負う。
46	B-07000261	男性	10歳代	150mg	アセトアミノフェン	幻聴	不明	咳・鼻水あり市販の解熱鎮痛剤を服用。38℃台の発熱がありポーっとしていたが意識正常。頭痛・悪寒があり、受診し、インフルエンザA型陽性と出たため、リン酸オセルタミビル処方。翌朝、母親が外から呼んでいるというような幻聴があり、自宅玄関(5階)から外へ出ようとしたため制止した。
47	B-07000262	女性	10歳未満	42.6mg		異常行動	回復	インフルエンザB型と診断。リン酸オセルタミビル服用後、睡眠。その30分後ベランダに向かって走り出したため、トイレに隔離したところ叫び声をあげていた。
48	B-07000264	男性	50歳代	150mg	ジクロフェナクナトリウム アズレンスルホン酸ナトリウム ・L-levulatin	異常行動	不明	インフルエンザ検査陰性。リン酸オセルタミビル投薬。夕方、本剤、ジクロフェナクナトリウム服用後、しゃべりにくくなり、また身体が痛く動けなくなる。夜中、他院に受診。インフルエンザ検査陰性。以後本剤服用せず。車で移動中に車から道路に出ようとした。

異常な行動が記録されている事例(その2)(平成19年3月21日~4月17日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要
49	B-07000272	男性	10歳代	120mg	塩酸エブラジン カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン	異常行動	回復	インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。服用し、就寝。服用2時間半後、急に体をおこし、2階の窓から飛び降りようとしたため、家人がとりおさえ、ことなきを得た。すぐにおさまり、1階へ移動して就寝した。服用4時間半後、再び急に起き上がり、今度は1階の窓から飛び出した。その時、外で隣人が水まきをしており、その場で我にかえり、ことなきを得た。服用中止後、異常行動なし。軽快。
50	B-07000274	男性	10歳代	116mg	臭化水素酸デキストロメトルファン 塩酸アンブロキシソール	異常行動	回復	39°Cの発熱、咽頭痛、咳あり。インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。本剤、臭化水素酸デキストロメトルファン、塩酸アンブロキシソールを内服。服用約1時間後、1階にて寝ていたが覚醒し、階段を半分まで上がり、母が駆けつけると驚き泣く。1階へ連れ戻すと玄関を指差し怯える。部屋へ連れてはいると騒ぐ。布団に入れたが体中に力を入れ唸る(約5分間)。急に立ち上がり胸を両手でささえる。母が抱きしめていると落ち着き就寝。服用8時間後、本剤服用するものの、2/3は吐き出す。服用1時間後、目を覚まし、起き上がり、掃除機のホースに足を入れようとする。本人は夢でマンションから飛び降り、痛みはなく、起き上がり歩こうとした。掃除機に足を入れようとしているところで現実に戻ったが、自分の体を止めることができなく、その後、記憶がなくなったとのこと。
51	B-07000279	男性	10歳未満	81mg		異常行動	回復	A型インフルエンザのためリン酸オセルタミビルを投与開始。投与後突然起き、走り出し、ドアに激突、顔面打撲(左顔)。異常行動発現。
52	B-07000283	男性	10歳代	75mg		譫妄 意識レベルの低下	回復 回復	発熱39°C。インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル投与開始。服用3時間後、せん妄、もうろう状態発現。トイレに行きドアを開けずに接近し、転倒。その後2階で寝かせた。床の中で不隠動作(手をバタバタさせたり起き上がろうとしたり、物に話すような動作)が認められたため、両親が体を抑えつけていたら改善した。記憶は定かではなかったとのこと。症状回復。本剤投与中止。翌朝、体温35.8°Cに低下し、回復。
53	B-07000284	男性	10歳代	150mg		異常行動 幻覚	回復 回復	インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル投与開始。異常行動、幻覚発現。何か幻覚のようなものを見て、外に出ようとした。母親が止めようとしたが、止められず、父親が平手打ちをしたところ正気に戻った。翌日、熱も下がり、症状は回復。本剤は継続中。
54	B-07000286	男性	10歳未満	132mg	臭化水素酸デキストロメトルファン d-マレイン酸クロルフェニラミン フマル酸ケトチフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型に対して、リン酸オセルタミビル処方。うわごとを言って、表情もこわばり、走り出すため、親が抱きかかえていた。服用後6~7時間後に症状消失。再度本剤服用後、同症状出現し、繰り返した。4回目の服用中止。症状全て回復。

異常な行動が記録されている事例(その2)(平成19年3月21日~4月17日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
55	B-07000288	男性	10歳未満	168mg	クラリスロマイシン	異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用5~6時間後、部屋を意味無くうろろする。急に水遊びをしだす。その後、布団が重いと言い出し、突然2階に駆け上がり、父親の枕を取り上げた。その後、1階に駆け下り、父親が取り押さえた。熱は38.5度。3回目から服用せず。解熱剤の併用もなし。夜間のエピソードの記憶はなかった。
56	B-07000306	男性	10歳代	75mg		異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用後も高熱(39度)が持続。服用10時間後、2階から階段を勢いよく下りてきて、玄関から飛び出し、田んぼを走っていた。その後、国道に寝ていたが、車輦が気づき、事故に至らなかった。その後、本剤服用中止。アセトアミノフェン服用し、解熱。異常行動回復。
57	B-07000403	女性	小児	150mg		異常行動	回復	リン酸オセルタミビル服用後、自分が透明になったなどと2時間くらい暴れる。母親らがしばらく押さえつけて事なきを得た。なお、患者はもともと精神科に通っている。
58	B-07000412		10歳代	138mg		異常行動	回復	インフルエンザB型の治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用2日目、午前中に2階から転落。頭蓋内血腫と診断。入院治療し、約1週間で退院。異常行動回復。 (4月4日安全対策調査会資料には、症例概要は掲載していないものの、件数は計上していた平成18年7年の事例)
59	B-07001302	女性	10歳代	75mg		痙攣	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。本剤投与1回目の就寝2時間後、徘徊し、階段から転落。痙攣が10分ほど持続。事象発現から30分後、意識が戻り、その後は問題なし。

異常な行動が記録されている事例（インフルエンザウイルス感染の有無）

No.	識別番号	感染
1	B-06026126	○
2	B-06026130	○
3	B-06026296	不明
4	B-06026420	○
5	B-06026444	○
6	B-06026540	不明
7	B-06026629	不明
8	B-06026630	○
9	B-06026663	○
10	B-06026707	○
11	B-06026847	不明
12	B-06026848	○
13	B-07000057	不明
14	B-07000058	不明
15	B-07000063	不明
16	B-07000065	○
17	B-07000066	不明
18	B-07000076	○
19	B-07000077	不明
20	B-07000078	不明
21	B-07000086	○
22	B-07000087	○
23	B-07000097	不明
24	B-07000102	不明
25	B-07000106	○
26	B-07000108	○
27	B-07000111	○
28	B-07000121	○
29	B-07000128	○
30	B-07000130	○
31	B-07000131	○
32	B-07000153	○
33	B-07000156	不明
34	B-07000162	不明
35	B-07000163	○
36	B-07000166	不明
37	B-07000198	○
38	B-07000206	○
39	B-07000209	不明
40	B-07000215	不明
41	B-07000218	不明
42	B-07000240	不明
43	B-07000244	○
44	B-07000259	○
45	B-07000260	不明
46	B-07000261	○
47	B-07000262	○
48	B-07000264	×
49	B-07000272	○
50	B-07000274	○
51	B-07000279	○
52	B-07000283	○
53	B-07000284	○
54	B-07000286	○
55	B-07000288	不明
56	B-07000306	○
57	B-07000403	不明
58	B-07000412	○
59	B-07001302	不明

○：インフルエンザウイルスの感染が明確なもの
35例

×：インフルエンザウイルスに感染していないもの
1例

不明：検査が実施されていないもの等
23例

異常な行動が記録されている事例(その3)(平成19年4月18日～5月31日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日投与量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
1	B-07001354	女	10歳未満	120mg		異常行動	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル投与開始。 服用開始2日目、酸素マスクをはずして、点滴のラインとカチャカチャぶつけていた。声を掛けると我に返った。ベッドの上に立ち上がった。声をかけても反応無し。手をベッドにぶつける。 服用開始から6日目、異常行動回復。
2	B-07001355	男	10歳代	150mg	プラノプロフェン 臭化水素酸デキストロメ ルファン ドンペリドン フマル酸クレマスチン	異常行動 幻覚	回復 回復	数日前から咽頭痛あり、朝から38.3℃の発熱を訴え受診。B型インフルエンザ陽性のため、リン酸オセルタミビル処方。本剤2回服用4時間後に就寝。翌日未明、両親の寝室にばたばたと入ってきて、「死ぬとこだった」とおびえた表情をしたので、両親は寝かせつけた。その朝、患児を観察すると、擦り傷、両下肢の付着物、両足底の汚れあり。事情をきくと、何かに追いかけるような怖い夢を見ていたような恐ろしい思いをした後、自分が窓枠にぶら下がり、両足をコンクリート壁の突き出し部分に乗せているのに気づき、よじ登って部屋に入ったとのこと。部屋を確認すると、窓が開いている、足跡がついている等の形跡あり。
3	B-07001356	男	10歳代	150mg		異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル投与開始。服用3日目、服用後に患者が異常に本剤を欲しがり、母親の首を絞めるなどの異常行動あり。翌日、異常行動回復。
4	B-07001361	女	10歳代	150mg		異常行動	軽快	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用2回目で突然立ち上がり、廊下に飛び出す。わけのわからない事を叫び、暴れる(約3分間1回きり)。家族がおさえつけて制止した。 服用開始5日目、服用終了。
5	B-07001523	男性	10歳代	150 mg	アセトアミノフェン 塩酸アンブロキシソール 塩酸シプロヘプタジン 塩酸ホミノベン	異常行動	回復	数日前より症状あり、一般用の感冒剤を服用。 翌日、発疹あり受診。インフルエンザA型陽性のため、リン酸オセルタミビル処方。1回目服用1時間後、両上肢拳上、訳のわからないことを言いながら、こたつの周囲を10回ほど回った。その後紙製のふたをにぎりしめていた。このため救急車で来院。怒りっぽく荒々しい言動であった。CT異常なし。眠気あり。 その翌日午後、意識清明となる。
6	B-07001666	男性	30歳代	150 mg	アモキシシリン	異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル処方。服用3日目、目がうつろ、家族の言葉を聞いていない等の異常行動が出現。服用4日目、突然包丁を持ち出したり、道路の車の前に飛び出したりした。服用5日目、本剤服用中止。中止1日後、意識清明。

異常な行動が記録されている事例(その3)(平成19年4月18日~5月31日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日投与量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
7	B-07001668	男性	10歳代	150 mg	アセトアミノフェン	幻覚 異常行動	回復 回復	発熱39.1℃。検査にてインフルエンザB型陽性のため、リン酸オセルタミビル5日分処方。同日昼、夜と本剤2回服用。 翌日未明、就寝していた患者が急に起き上がり、部屋をかけ回る、たんすを開ける、友達がいると言ひ、友達の名を大声で叫ぶなどの行動をとる。家族が気づきおさえる。数分で落ち着いた。39.9℃と高熱。同日朝、意識清明であるが、異常行動時の記憶はなし。本剤服用中止。その後、異常なし。
8	B-07001670	女性	10歳代	75 mg	アセトアミノフェン	大発作痙攣	回復	39.2℃の発熱を主訴に初診。インフルエンザB型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。同日夜、風呂場に行き、浴槽で頭を打ちつける異常行動を発現。出血(少量)あり。失禁あり。意識清明まで5、6分。その後、強直発作10秒認める。発熱は一度37℃台に戻るが、再び38℃台に上昇。その後、就寝。深夜、トイレに行ったときに脱力し、意識消失。約1分後に回復したが、その後10分程度ボーっとした状態であった。その後、通常に戻り就寝。徐々に平熱となった。
9	B-07002051	男性	10歳未満	120 mg	クエン酸モサプリド ヒベンズ酸チペピジン 塩酸シプロヘパタジン 塩酸アンブロキシソール アセトアミノフェン	異常行動	軽快	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。同日昼前、服用し、4時間後、ベッド上で暴れ、奇声をあげる。母が抑制し、10分程度で暴れなくなった。同日夕方、再診し、診察上言動やや不安定だが指示には従う。名前、年齢は答えられるが、「どこにきているか」の問いかけには「わからない」と答えるといった軽度の失見当識を認めた。神経学的異常所見を認めず(meningeal signs(-))。同日夜間、最高40℃まで発熱するもせん妄、異常行動認めず、入眠した。 翌朝、体温37℃台まで解熱。易疲労訴えあるが、その他、異常は認めなかったとのこと。
10	B-07002055	男性	10歳代	75 mg		異常行動	回復	シーズン前にインフルエンザ予防接種2回施行。 気分が悪いと訴えあり。体温38.4℃。インフルエンザ検査陰性であったが、インフルエンザの可能性高いからと、リン酸オセルタミビル処方。服用3~4時間後の早朝、「友達がベランダから落ちた」と発言。表情もおかしかった。問いかけに答えられず。そのまま睡眠した。同日夕方、ウーと声が聞こえたので、急いで行ったら、自分の頭を殴っていた。その後「人を殺した」と発言。本剤中止。暫くして意識清明となる。 翌日未明、気分が悪いと訴え、リビングを駆けずり回り、「死にたい」と連呼。救急車要請。救急隊到着時、ぼーっとしている感じではあったが、名前は言えた。入院後、補液。その間異常行動なし。意識清明。顔には自分でひっかいた、ひっかき傷目立つ。唇もかんでいよう、出血あり。本剤内服せず様子見とした。翌日、解熱し、異常行動もみられず退院。 2週間の間隔をあけて測定したが、インフルエンザに対する抗体価の上昇なし。

異常な行動が記録されている事例(その3)(平成19年4月18日～5月31日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日投与量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
11	B-07002056	男性	10歳未満	75 mg		異常行動	回復	38.2℃の発熱。 翌日、リン酸オセルタミビル処方。同日夜、本剤服用。翌深夜(服用6時間後)、起きだし、2階の階段を下りようとし、その際母親を跳ね飛ばし、母親が階段から落ち、骨折。異常行動発現。その後、父親に抱きつき、眠った。 服用開始3日目、熱も下がり、普通に戻った。異常行動回復。
12	B-07002193	女性	10歳代	75 mg		異常行動	軽快	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル服用。服用2時間半後、目の焦点が合わない、叫び声をあげる、壁に頭を打ちつけるという異常行動あり。すぐに再来院。再来院時は意識清明、採血結果も異常なし。異常行動時、本人はかすかに記憶あるも、頭を打ち続けることを止めることができず怖かったとのこと。1回内服のみで中止し、その後、異常行動を認めていない。
13	B-07002664	男性	10歳代	150 mg	アセトアミノフェン 鎮咳配合剤(1) 塩化リゾチーム d-マレイン酸クロルフェニ ラミン	錯乱状態 強迫性障害 うつ病	回復 未回復 未回復	インフルエンザB型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。昼前に本剤服用。夕方、解熱。同日夕方、2回目服用後に就寝。就寝1時間後、起きた時に錯乱状態になり、家族が押さえつける。症状は約30分間続き、回復。投与中止。 投与中止1日後、朝、37.3℃。起床後すぐに「手洗い」を始め、その後もずっと手を洗い続け、1日に30回以上「手洗い」をするようになるといった強迫神経症、うつ病が発現。インフルエンザは軽快。投与中止4日後、1日に60回以上「手洗い」し、周りの物に触れようとしなくなる。 メンタルクリニックにて洗浄強迫障害と診断される。投薬されるも症状改善なく、1日に7～8回入浴する状態となる。食欲も著しく低下。 投与中止21日後、ロープで首吊り自殺しようとする。その後も自殺願望さらに強くなる。 投与中止55日後、夜、突然顔面より上半分に筋肉の強張出現。救急受診し、筋弛緩剤投与され改善。その後も自宅で療養中。
14	B-07002856	男性	10歳代	不明		異常行動	<記載なし>	リン酸オセルタミビル服用2時間後、寝ていたが、笑って起きだし廊下を走り出した。「どうしてかわからないが、笑いたくなったり、走りたくなったり」と本人が説明。
15	B-07002858	男性	10歳未満	120mg		異常行動	不明	夕方、リン酸オセルタミビル服用。服用後、嘔吐発現。 深夜、本剤服用。服用後、ばたばた暴れだし、大きな声を上げながら部屋から飛び出す行動といった異常行動発現。 投与開始2日目、朝、服用後、頭痛、異常行動あり。

異常な行動が記録されている事例(その3)(平成19年4月18日~5月31日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日投与量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
16	B-07002997	女性	10歳代	150 mg	ドンペリドン d-マレイン酸クロルフェニ ラミン 酪酸菌製剤	痙攣 大発作痙攣	回復 回復	3年前、A型インフルエンザにてリン酸オセルタミビル服用あり。副作用なし。 38.5℃。B型インフルエンザの診断にて、リン酸オセルタミビル処方。帰宅後、本剤服用。この時体温40℃。昼、異常なし。夜、2階から1階に下りようとして「こわい、こわい」とさけび出し、両手を広げパンパン壁をたたき、その後、けいれんを1分間起こした。5分後、会話ができるようになったが、「こわい、こわい」と言っていた。けいれん時:35.5℃と解熱。本剤、夜は睡眠中であったため、服用せず。 投与開始2日目、朝、本剤服用中止するも、夜は服用。 投与開始3日目、朝、夕本剤服用。
17	B-07003018	男性	10歳代	52.5mg	トラネキサム酸 フマル酸クレマスチン アセトアミノフェン 塩酸ツロブテロール カルボシステイン	異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。夕方、本剤服用1時間後、突然起きて、「早く早く」とつぶやき、外に出ようとした。また、ニヤリと笑っていた。その後も、家の中をふらふらとしていた。本剤は1回で中止し、翌朝まで就寝。 翌日、異常行動回復。本人に聞いたところ、前日のことは覚えなし。
18	B-07003175	男性	10歳未 満	127.8mg	アセトアミノフェン アセトアミノフェン	異常行動 異常行動 異常行動	回復 回復 回復	インフルエンザA型の診断にてリン酸オセルタミビル処方。本剤1回目服用後、就寝。夕方、本剤2回目服用。布団から急に立ち上がりカニのように歩き回る。カーテンを開けて外を見、痙攣し倒れた。 投与開始2日目、一時入院。入院中も本剤継続。 投与開始3日目、4日目、「死にたい」との発現あり。 投与開始5日目、本剤服用中止。
19	B-07003186	女性	20歳代	150 mg		異常行動 感情不安定	回復 回復	インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル服用開始。服用後、熱がさがった。 投与開始2日目、元気になった。夜、異常行動、感情失禁発現。吐き気あり。気分が高揚し、走り出したい気分となり、何をみても笑いが止まらない状態となった。自制しようとする意識もあるが、走り出したい自分を止められず、家族に助けを求める。発現1時間後、大声で笑いが止まらない。そのうち笑いが止まらないことに対して泣き出す。見当識障害多少あり。 投与開始3日目、朝、ほぼ元通りの人格に戻った。

異常な行動が記録されている事例(その3)(平成19年4月18日～5月31日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日投与量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
20	B-07003477	男性	20歳代	75 mg	塩酸アンプロキソール 塩酸セフカペンピボキシル レバミピド アセトアミノフェン 塩酸モサプラミン リスベリドン 塩酸ピペリデン クロルプロマジン・プロメ ジン配合剤(1) ニトラゼパム カルバマゼピン フルニトラゼパム	異常行動	不明	A型インフルエンザと診断され、塩酸アマンタジン、カルボシステイン、塩酸セフカペンピボキシル、レバミピド、アセトアミノフェン(頓用)処方。精神病薬を服用している。塩酸アマンタジンからリン酸オセルタミビルに変更。帰宅し本剤服用後、自宅マンション6階から飛び降りる。患者は一命を取り留めるが、現在身体障害者となっている。 なお、患者はもともと熱を出すとフラフラする体質で、異常行動を起こす前にもめまい等起こしている。 (2004年の症例)
21	B-07003581	男性	10歳代	63.9mg	テオフィリン 塩酸クレンブテロール リン酸ジメモルファン 塩酸アンプロキソール フマル酸クレマスチン モンテルカストナトリウム プロピオン酸ベクロメタゾン クロモグリク酸ナトリウム 塩酸プロカテロール アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用。その後寝かせたが、1～2時間してから起きてきて友達の家遊びに行くと言い出し、無理に外出しようとした。抑えて寝かせつけた。その後はニコニコと笑っていて手足がピクピクと動いていた。しばらくすると治まり、その後服用は中止。 以後、異常行動はみられていない。 本人も記憶にないとのこと。
22	B-07003582	女性	10歳未 満	90 mg	カルボシステイン リン酸ジメモルファン 塩酸シプロヘプタジン	異常行動	回復	インフルエンザA型の診断にてリン酸オセルタミビル処方。1回目服用1時間後、突然2階に走っていき、部屋をウロウロする。翌朝までずっとウトウトしていた。夜、2回目服用。夜間、犬を呼ぶ動作、物を食べる動作、家の中を徘徊、手を何回も洗う、尿失禁等がみられた。 翌朝、40℃の発熱。朝からボーッとしており、呼びかけへの反応も乏しい状態が続くため、受診。精査加療目的に入院。脳波上、全般性の徐波を認め、MRI所見なし。髄液所見なし。脳症の可能性を考え、メチルプレドニゾン投与を施行。 翌日、意識清明となり経過良好。

異常な行動が記録されている事例(その3)(平成19年4月18日～5月31日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日投与量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
23	B-07003786	男性	10歳代	150 mg	塩酸セフカペンピボキシル 塩化リゾチーム アセトアミノフェン リン酸ジメモルファン	異常行動	回復	リン酸オセルタミビル服用開始。臥床していたが、飛び起きて走り出した。記憶なし。家族が抱きとめた。 投与開始3日目、インフルエンザ確定診断実施し、B型と診断。本剤投与中止。
24	B-07003912	男性	10歳代	75 mg	葛根湯 アセトアミノフェン	衝動制御障害	回復	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。夕方より、本剤服用開始。発熱もおさまっていないのに、とにかく走りたくてしかたがない気分となり、家を飛び出して20分程度ランニングして帰宅。止めることのできない行動であった。 投与開始4日目、熱も下がり、明らかなインフルエンザ症状は改善したにもかかわらず、食欲は極めてあるのに約10日間学校に行くことができない、寝ていなくてはならないしんどさが続いた。 投与開始5日目、朝、本剤服用後、服用終了。 投与中止7日後、しんどさは回復。
25	B-07004039	男性	10歳代	150 mg	フマル酸クレマスチン ヒベンズ酸チペピジン アセトアミノフェン	譫妄	回復	B型インフルエンザ発症し、リン酸オセルタミビル服用開始。 投与開始2日目、朝、2階で寝ていたが、急に起きてきて階段(屋内)の途中から飛び降り、部屋の障子を倒して外へ出て行こうとした。家族が制止し、30分後、我にかえた。39°C台の発熱あり。患者によると、悪い夢を見て、何かに追いかけていたような気がしたそうであるが、階段を飛び降りたり障子を倒したりしたこと等は何も覚えていなかった。
26	B-07004079	男性	10歳代	不明	アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。夜、突然動き回り、ドアやベランダから外に出ようとする。本人に「どうしたのか」と尋ねると「大丈夫」としっかりした口調で答えるし、意識もはっきりしているが、どうしても外に出ようとする。マンション5Fのベランダに出た時は飛び降りようとしたので、母親が必死に止めたので事なきを得たが、その時も口では「大丈夫」と言っていた。翌日、異常行動回復。

異常な行動が記録されている事例（インフルエンザウイルス感染の有無）

No.	識別番号	感染
1	B-07001354	○
2	B-07001355	○
3	B-07001356	○
4	B-07001361	○
5	B-07001523	○
6	B-07001666	不明
7	B-07001668	○
8	B-07001670	○
9	B-07002051	○
10	B-07002055	×
11	B-07002056	○
12	B-07002193	○
13	B-07002664	○
14	B-07002856	不明
15	B-07002858	不明
16	B-07002997	○
17	B-07003018	不明
18	B-07003175	○
19	B-07003186	○
20	B-07003477	○
21	B-07003581	不明
22	B-07003582	○
23	B-07003786	○
24	B-07003912	○
25	B-07004039	○
26	B-07004079	○

○：インフルエンザウイルスの感染が明確なもの
20例

×：インフルエンザウイルスに感染していないもの
1例

不明：検査が実施されていないもの等
5例

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例(その2)(平成19年3月21日~4月17日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
1	B-06026127	女性	60歳代	150mg		意識消失	回復	夜、本剤服用後、医院から帰る途中、車にて事故を起こした。意識消失発現。来院し、体温36.2℃。事故について、意識がなかったことを聞く。CT異常なし。意識消失回復。
2	B-06026128	男性	10歳代	75mg		幻覚 妄想 異常行動	回復 回復 回復	インフルエンザA治療の為、本剤の投与開始。幻覚、妄想、異常行動発現。
3	B-06026131	男性	10歳代	不明		異常行動	回復	リン酸オセルタミビル1回服用。10時間後、5分くらい変なこと(「ぼくの首がここに見える」「お父さんお母さん戦って勝った、やったー」「うろこが見える」など)を喋った。
4	B-06026181	女性	30歳代	150mg	アセトアミノフェン	異常行動 幻覚 幻聴	軽快 軽快 軽快	インフルエンザB型のため、リン酸オセルタミビル150mg/日投与開始。39℃台発熱時、本剤内服後、幻覚、幻聴、異常行動発現。翌日、本剤中止、入院。
5	B-06026529	女性	10歳未満	75mg		意識レベルの低下 大発作痙攣	回復 回復	リン酸オセルタミビル75mg内服10分後、嘔吐し、その後焦点合わず氷をいじったり、靴下をいじったりして呼びかけに答えなくなり、眼球上点、全身強直間代性けいれんとなった。けいれんが止まった後も、呼びかけに応えずに四肢を動かす意識障害が持続し、当院搬送。3時間後には意識清明になった。
6	B-06026622	女性	10歳代	75mg	ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン 塩酸プロメタジン トラネキサム酸	意識消失	回復	リン酸オセルタミビル服用10時間後、体に力が入らず脱力状態。母が階段の上方から両腕をかかえ、家族が階段の下方から両足を持って運んでいた。開眼していたが、昇る途中、呼名に反応しない意識消失状態が1分間あり、家族は1分ほど両足の硬直を感じた。その後硬直は消失し、呼名に開眼する状態となり救急車で当院来院した。本人は階段昇っている途中より、家に救急隊が到着するまでの間は覚えていない。
7	B-06026623	男性	10歳未満	27mg		幻覚	回復	インフルエンザに対し、リン酸オセルタミビル27mg内服。遠くを見つめ、おぼけが出る等の症状を訴えたため、本剤中止。
8	B-06026807	女性	40歳代	150mg		痙攣	軽快	インフルエンザA型に対して、リン酸オセルタミビル投与開始。意識障害、痙攣発現。意識障害で倒れ、顔を打った。本剤投与中止。
9	B-06026808	女性	10歳未満	不明		異常行動	軽快	服用後5時間、異常言動発現。再来院し、入院。脳波及びCT検査での異常はなし。
10	B-06026846	男性	10歳未満	60mg	臭化水素酸デキストロメトルファン アセトアミノフェン	異常行動 痙攣	回復 軽快	インフルエンザA確定。服用30分後に奇声を発するも押さえつけ入眠。けいれん発現。入院目的に搬送時、意識クリアーになる。
11	B-06026849	男性	10歳未満	60mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザの診断なし。リン酸オセルタミビル60mg1回服用。40分就寝した後、布団を蹴飛ばし「怖い」と叫び、視点が定まらず、母がつかまえていた。インフルエンザ迅速検査陰性、咽頭粘液、血液でのインフルエンザウイルス同定(PCR)陰性。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例(その2)(平成19年3月21日~4月17日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
12	B-07000002	男性	10歳未満	不明		痙攣	軽快	インフルエンザ検査は陰性であったが、リン酸オセルタミビルを処方。痙攣が起きたため、入院。
13	B-07000056	男性	10歳未満	不明		幻覚	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用後、幻覚発現。
14	B-07000060	女性	20歳代	150mg	プラノプロフェン ジブロフィリン・ジヒドロコデイン配合剤	痙攣	回復	A型インフルエンザに対し、リン酸オセルタミビル服用開始。3回目の服用4時間半後、痙攣が発現。翌日、回復。
15	B-07000064	男性	10歳代	75mg	鎮咳配合剤(1) アセトアミノフェン 塩酸セフカペンピボキシル	意識消失	軽快	インフルエンザ治療のため、本剤服用。1時間後、意識レベル低下。両親の呼びかけに応じないため、救急者にて他院に搬送。その後、自然回復。
16	B-07000067	女性	10歳未満	27mg		痙攣	軽快	リン酸オセルタミビル27mg服用後、暫くして痙攣。2回目から服用中止。翌日、痙攣軽快。
17	B-07000068	男性	10歳代	75mg	アセトアミノフェン 鎮咳配合剤(1)	意識消失 痙攣	回復 回復	リン酸オセルタミビル75mg服用。 約4時間後、母親が心配でトイレに付き添った所、突然意識消失し、痙攣を起こした。声をかけたところ、5秒後に回復した。しかしその後の返答もおかしくトイレに行こうとしたのにも関わらず、ご飯を食べにリビングに行こうとしたと、トンチンカンな事を言った。
18	B-07000074	女性	小児	150mg		異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル75mg1日2回服用。しゃべりまわっていた。
19	B-07000075	女性	10歳未満	90mg		幻覚	回復	リン酸オセルタミビル服用開始。服用2時間後に幻覚発現。服用5日目、幻覚は回復。
20	B-07000079	男性	10歳代	75mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	B型インフルエンザに対し、リン酸オセルタミビル服用。服用5時間半後、39.3℃の高熱のため、アセトアミノフェン服用。 服用6時間半後、トイレの便器周辺に排尿。目がとろんとした状態で、にこにこしながら学校の話に饒舌となり、異常行動発現。 父親に叱られるも、通常の意識には戻らず、その後すぐに入眠した。その時の記憶はないようであった。 服用7時間半後、37.3℃となり、その後、覚醒し、この時点で意識は正常に回復。熱が38℃であったため、アセトアミノフェン服用。翌日、本剤中止。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例(その2)(平成19年3月21日~4月17日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
21	B-07000088	女性	10歳代	150mg	d-マレイン酸クロルフェニラミン 硫酸サルブタモール	異常行動	軽快	インフルエンザウイルス感染症治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。深夜、トイレに行き、トイレの中で意味不明なことを絶叫し、その場で倒れて意識不明の状態になった。30分後、救急車で運ばれて来たが、その際は意識は回復していた。異常行動軽快。
22	B-07000089	男性	20歳代	不明		意識消失	回復	インフルエンザ様症状を発症。発症6日後、友人からもらったリン酸オセルタミビル服用開始。翌日、車の運転中意識がなくなり、壁にぶつかり、当院のICUに入院。意識レベルバイタルは正常だが、ハンドルを腹部にぶつけ、肝臓の損傷の疑いあり。アンギオ実施。同日、意識消失は回復。
23	B-07000090	女性	10歳未満	不明	塩酸セフカペンピボキシル ヒベンズ酸チペピジン 塩酸シプロヘプタジン 塩酸プロカテロール 塩酸アンブロキシール	異常行動 異常行動	回復 回復	リン酸オセルタミビル服用開始。同日、「何か気分がいい」との異常言動が発現し、翌日回復するが、服用4日目まで、「何者かに追われている」との異常言動が発現。服用4日目、本剤服用中止。中止翌日、異常言動回復。
24	B-07000092	男性	40歳代	75mg	ベラプロストナトリウム 塩酸セベラマー メチルドパ ベシル酸アムロジピン バルサルタン アルファカルシドール ポリスチレンスルホン酸カルシウム 沈降炭酸カルシウム クロナゼパム メコバラミン センノシド	異常行動	軽快	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル投与開始。透析患者のため、本剤75mgを1回のみ投与する予定が、誤って1日1回を5日間投与してしまった。5日間服用後、夜間透析を受けており、睡眠中だったが、急に起きて透析の針を自分で抜いてまた刺したという異常行動(自己抜刺)をおこした。同日症状回復。
25	B-07000098	男性	10歳未満	70mg		脳炎	死亡	A型インフルエンザ罹患者との接触があり、また化学療養中で免疫機能低下状態のため、感染予防目的でリン酸オセルタミビル投与開始。敗血症発症。服用から3日目、髄膜脳炎を発症(細菌陽性)。(合併:急性骨髄性白血病)
26	B-07000100	男性	10歳未満	150mg		幻覚 異常行動	回復 回復	A型インフルエンザ治療の為、リン酸オセルタミビル服用開始。幻覚、行動の異常発現し、同日回復。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例(その2)(平成19年3月21日~4月17日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
27	B-07000101	男性	10歳未満	72mg	塩酸シプロヘプタジン ヒベンズ酸チペピジン セフォタキシムナトリウム ジアゼパム	痙攣 意識レベルの低下	不明 回復	深夜、発熱。翌朝、インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル服用開始。本剤3回目服用後、けいれん(1分くらい)発現し、入院。丸1日意識レベル低下。けいれん、意識レベル低下(ともに非重篤)発現。翌日、熱が下がる。翌々日、本剤服用中止。服用中止1日後、ふらつき、頭痛あり。(意識レベルは正常)MRI異常なし。幻覚、視覚異常、ふらつき、傾眠発現。服用中止2日目、「あそこにかかいるから痛い」と言う異常行動発現。
28	B-07000104	男性	60歳代	75mg		痙攣	死亡	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル75mg服用。5時間後の翌未明、けいれん(全身性)発症。
29	B-07000105	女性	20歳代	150mg	アセトアミノフェン	意識消失	回復	夕食後、リン酸オセルタミビル服用開始。翌未明、トイレに行ったとき気を失う。顔を打つ。現在、顔の傷の治療のため通院中。
30	B-07000107	女性	10歳代	130mg	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸シプロヘプタジン カルボシステイン	異常行動	回復	A型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。異常行動、言動(家電をなぐった)発現。服用3日後、異常行動、言動回復。
31	B-07000110	男性	10歳未満	120mg		意識レベルの低下	回復	リン酸オセルタミビル服用当日夜、意識障害(重篤)、痙攣が発現。翌日、意識障害回復。
32	B-07000113	男性	10歳代	75mg		痙攣	回復	インフルエンザB型に対して、リン酸オセルタミビル処方。自宅でうずくまっているのをおこしたときに痙攣があり、救急搬送される。熱はなく、意識もあり、身体レベルも異常なし。脳圧も正常。当日、痙攣軽快。
33	B-07000119	女性	90歳代	150mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	発熱38.5℃、咽頭痛、倦怠感。インフルエンザA型と診断。服用3日目、夜、点滴抜針し、枕を投げ、ふとんをおしやり下に落とし、突然暴れだした。服用4日目、朝、家人にトイレ介助を訴え、家人介助する。この時点で落ちついた様子であった。服用5日目、本剤投与終了、落ち着いてきたため退院。
34	B-07000120	男性	10歳代	150mg		幻覚 異常行動	不明 不明	インフルエンザA型に対して、リン酸オセルタミビル2回内服。幻覚症状があり、暴れたりした。
35	B-07000123	男性	10歳未満	150mg		異常行動	回復	インフルエンザに対しリン酸オセルタミビルの投与を開始。同日、異常行動発現。翌日、異常行動回復。
36	B-07000124	男性	10歳未満	不明		異常行動	回復	過去に本剤服用時に異常行動が発現(詳細不明)したことあり。インフルエンザに対し、リン酸オセルタミビル投与開始し、異常行動発現。翌日、異常行動回復。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例(その2)(平成19年3月21日~4月17日に第一報報告のあったもの)

No	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
37	B-07000126	女性	80歳代	150mg	塩酸マジピン ピコスルファートナトリウム	幻覚	回復	37.1°Cの熱および鼻水あり。インフルエンザA型と判明し、本剤処方。翌日、前日より熱が上がっており37.7°C。昨晩は寝られなかった様で、家族の話では夜中に意味不明の発言をしていたとのこと。
38	B-07000129	女性	40歳代	150mg	酒石酸ソルピデム フルバスタチンナトリウム ピコスルファートナトリウム 非ピリン系感冒剤(4) ロキソプロフェンナトリウム テブレノン	異常行動	回復	患者がインフルエンザの検査を拒否したが、リン酸オセルタミビル処方。翌日、通勤する際、車で自損事故を3回繰り返した。来院し、インフルエンザの検査を実施したところ陰性。
39	B-07000133	男性	20歳代	150mg		譫妄	軽快	インフルエンザ疑いのため、リン酸オセルタミビル投与開始。翌日、意識もうろう、うわ言発現。本剤投与中止。投与中止8日後、意識もうろう、うわ言軽快。
40	B-07000135	男性	10歳未満	102mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル投与開始。本剤2回目服用後、ベッドの上で跳び始めた。何かにおびえる様子。異常行動発現。38°C台。2日後、異常行動回復。
41	B-07000136	女性	40歳代	150mg	アセトアミノフェン	意識レベルの低下	不明	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル投与開始。意識障害(記憶)発現。
42	B-07000148	男性	10歳未満	100mg		痙攣	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル投与開始。本剤投与終了2日後、意識障害、痙攣発現。同日、回復。
43	B-07000150	男性	20歳代	不明	アセトアミノフェン	幻覚	回復	インフルエンザA型と診断。リン酸オセルタミビル処方。発熱38°C。夜、本剤服用3時間後、「死神が見える」と訴える。幻覚発現。翌日、インフルエンザ脳症の疑いで、入院。
44	B-07000151	男性	20歳代	150mg		異常行動	回復	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル投与開始。投与開始4日後、異常行動発現。翌日、異常行動回復。
45	B-07000152	女性	10歳未満	100mg		痙攣	回復	40.5°Cの発熱と腹痛のため、母親同意の下、リン酸オセルタミビル処方。一回目の本剤服用約20分後、いびきをかいて寝ているような状態であったため、心配になって確認したところ、口から泡を吹いているような状態で、再受診。その際、顔は真っ青で、唇はチアノーゼがでていたとのこと。再受診の際は、目は開けているがぼんやりとしており、両親の問いかけにも反応が悪かったとのこと。けいれんが見られており、抗けいれん薬などの処置により回復。
46	B-07000155	女性	50歳代	75mg	アセトアミノフェン	自律神経失調 意識レベルの低下	軽快 回復	インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビルを処方される。服用後、就寝。翌朝、服用後、腹痛のためトイレに入る。冷汗が出て気付いたら意識喪失で倒れているところを夫が発見。歯3本折る、顔の外傷、頭部血腫。自律神経系異常、意識消失発現。他院でCTをとったが異常なく、現在治療中。発見時、大きないびきをかいていた。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例(その2)(平成19年3月21日~4月17日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
47	B-07000157	男性	10歳未満	不明		譫妄	回復	インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビルを投与開始。熱せん妄発現。見えないものが、見えるとおびえていた(40.5℃。)翌日、熱せん妄回復。5日目、本剤投与終了。
48	B-07000160	女性	50歳代	150mg	臭化水素酸デキストロメト ファン 塩酸プロカテロール ラミブジン シクロスポリン	意識消失	軽快	インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビルを投与開始(5日間)。意識消失発作が発現。投与終了後、3日目、意識消失発作にて自宅で倒れているところを家族が発見した。その後、意識はすぐに回復した(生体肝移植後で病院に通院中であり、同病院の医師に相談し、本剤はそのまま内服を続行したが、その後、意識障害はなかった)。
49	B-07000161	女性	10歳代	不明		痙攣	不明	インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビルを投与開始。翌日、本剤内服1時間後にけいれん発現。本剤投与中止。
50	B-07000164	男性	10歳未満	130mg		痙攣	軽快	インフルエンザウイルス感染治療の為、リン酸オセルタミビルを投与開始。同日、けいれん、自動運動発現。同日軽快。
51	B-07000200	女性	10歳代	150mg		意識消失	回復	インフルエンザBの診断のため、リン酸オセルタミビル処方。翌朝、急に目が見えないと言ひ意識を失い、その後眼球が上転し四肢がつっぱる様な痙攣を起こしたが、数分で回復。37.6℃。翌日、インフルエンザ軽快。
52	B-07000201	男性	不明	150mg		譫妄 痙攣	不明 不明	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。翌朝服用後、突然うわ言、痙攣発現。そのまま寝てしまう。夕方、回復し、本剤を服用すると再び同じ症状出現。嘔吐もあり。 本剤服用中止。
53	B-07000202	男性	10歳代	不明	バルプロ酸ナトリウム ゾニサミド	痙攣	回復	インフルエンザB型に対して、リン酸オセルタミビル処方。服用1時間後、痙攣発現(2分間)。CT検査異常なし。服用開始2日後、回復。
54	B-07000204	女性	30歳代	75mg		自傷念慮	回復	本剤服用後、腕を切りたくなるといった自傷願望発現。その後回復。
55	B-07000205	女性	60歳代	75mg		意識消失	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。 翌日、意識消失発現。廊下でまへのめりに転倒、顔を床にうつ。本剤服用中止。
56	B-07000208	男性	20歳代	不明	非ピリン系感冒剤(4) テブレノン 臭化チキジウム	異常行動	回復	インフルエンザ検査は陰性であったが、発熱38.2℃。インフルエンザと判断し、リン酸オセルタミビル処方。服用30~40分経過後に車で帰宅。運転中に突然、脱力感を感じハンドル、ブレーキの操作も出来ない状態になった。10分後、回復。翌日、本剤を服用したが特に症状はなし。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例(その2)(平成19年3月21日~4月17日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
57	B-07000211	男性	10歳代	150mg		うつ病 無感情 自殺企図	未回復 未回復 未回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。本剤服用後、抑うつ、無気力、自殺企図発現。服用開始4日後、服用中止。
58	B-07000213	男性	30歳代	不明		双極性障害	不明	インフルエンザ治療のために、リン酸オセルタミビル処方。服用開始3日目ぐらいに不安感、孤独感が発現。5日間服用したが、その後、虚脱感、体に力が入らない、尿の回数が2回/日に減少し、精神科を受診。軽躁状態、双極状態と診断され、それ以降、精神科から投薬を受けている。
59	B-07000214	男性	10歳代	75mg	セフポドキシムプロキセチル 鎮咳配合剤(1) アセトアミノフェン	異常行動	回復	38.9℃と発熱。インフルエンザB型と診断にて、リン酸オセルタミビル処方。服用後、異常言動発言。寝ていたのが起き出し、意味不明の発言あり、何かをさがす様な動きをくり返した。家族の声には全く答えず20分程で回復。その後著変なし、本人全く記憶なし。
60	B-07000216	男性	30歳代	不明		異常行動	軽快	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。翌日、異常行動発現し、入院。
61	B-07000217	男性	10歳代	150mg	一般用鼻炎薬	精神障害	回復	インフルエンザB型にて、リン酸オセルタミビル4日分処方。服用終了後、発汗量が減少し、本人が頭がぼーとするとした自覚症状を訴えた。精神障害発現。翌日も同様。服用終了3日目、脳波で異常が認められ、服用終了4日目入院。脳波では異常所見認めるが少しずつ改善。服用終了11日目に症状改善し、退院。
62	B-07000226	男性	20歳代	150mg	麻黄湯 塩化リゾチーム	うつ病	回復	インフルエンザ疑いにてリン酸オセルタミビル処方。内服して就寝。服用後、「死にたい」と訴えるなどの異常行動発現し、2回目服用中止。この時、39.1℃。翌朝、38.5℃の発熱、全身倦怠感あり。夕方、39.3℃。再び、「死にたい」と感じたが、前日より落ち着く。その後、解熱。当時の記憶はあまりなしとのこと。
63	B-07000227	女性	青少年	75mg		異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。トイレの前で急に倒れた。異常行動発現。近くの救急病院で点滴。
64	B-07000228	男性	10歳代	150mg		意識消失	回復	インフルエンザにより、リン酸オセルタミビル服用開始。翌日、服用後、トイレにて倒れていた。2~3分で意識が回復した。
65	B-07000229	女性	50歳代	150mg	クラリスロマイシン リン酸ジメモルファン セラペプターゼ	幻覚 幻視	軽快 軽快	A型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用2時間後、気分不良、嘔気が出現。ふらつきがあり、足が倍程に太くなる等の幻覚が発現。翌々日の朝、MRI施行するも異常なし。幻覚、幻視は軽快。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例(その2)(平成19年3月21日~4月17日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
66	B-07000231	女性	50歳代	150mg		0意識レベルの低下	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。2回目服用4時間後、トイレで倒れ意識消失1分位あり。救急車で来院。応答できるがぼんやりした感じ。上肢の脱力と嘔気がある。翌朝、症状改善し、退院。倒れたときの記憶はなく、意識消失は確かにあったものと考えられる。
67	B-07000241	男性	10歳未満	96mg	塩酸シプロヘプタジン 塩酸アンブロキシール 塩酸クロフェダノール ロキソプロフェンナトリウム	譫妄	回復	インフルエンザ治療の為、リン酸オセルタミビル投与開始。夜、2回目投与後、「怖い、怖い」とうわ言を言った。異常行動・うわ言発現。4日後、異常行動・うわ言回復。
68	B-07000242	女性	10歳代	不明		脳梗塞	不明	詳細不明
69	B-07000243	男性	10歳未満	不明	テオフィリン برانلكاست水和物 ツロプテロール	意識消失	回復	インフルエンザB型と診断。リン酸オセルタミビル服用1時間後、突然笑い出すが、しばらくして消失。再度、本剤及び他薬剤を服用後、両眼球が左上向きになり、口をパクパクして、呼びかけにも応じず、唇の色が悪くなったので、指を口の中へ入れて吐かせる等の対応をした。
70	B-07000245	男性	40歳代	150mg		自殺既遂	死亡	一年以上前、インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用。次の日、自殺。
71	B-07000256	女性	10歳代	150mg		意識レベルの低下	回復	インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル投与開始。投与4日目、意識レベルの低下発現。
72	B-07000257	男性	10歳代	150mg		幻聴 幻覚 異常行動	回復 回復 回復	インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル投与開始。翌日、本剤3回目を服用後様子がおかしくなり暴れだす。幻聴、幻覚、異常行動発現。他院入院。翌々日、回復。
73	B-07000263	男性	50歳代	150mg	酒石酸ソルピデム アセトアミノフェン	幻覚 異常行動	回復 回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル投与開始。翌日、幻覚、異常行動発現。本剤投与中止。自宅にて発現したため、一過性の脳虚血発作を疑い、検査のため入院。結果は脳虚血発作の可能性は薄いとのこと。
74	B-07000267	男性	10歳代	138mg		譫妄	回復	体温37.8℃で来院。インフルエンザB型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。服用開始2日目、夜から未明にかけて、うわごとが続く。服用開始3日目に中止。服用中止翌日、うわごと軽快。
75	B-07000270	女性	10歳未満	18mg		痙攣 発育遅延	回復 不明	インフルエンザワクチン接種後、感冒様症状出現。ワクチン接種翌日、感冒様症状は軽快。ワクチン接種4日後、再び感冒様症状あり、迅速検査でインフルエンザ陰性。対症療法薬剤を1~2回服用。再度、感冒様症状発現から2日後、38.6℃発熱。リン酸オセルタミビルを服用。本剤服用約20分後、脱力、意識消失、チアノーゼ、痙攣を生じた。本剤服用45分後頃、病院にて間代性けいれん、意識障害に対しジアゼパムを投与。10分後、痙攣が止まる。約90分後、意識清明、神経学的異常なし。その後は服用なし。5日後、下肢機能不良。発達障害あり。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例(その2)(平成19年3月21日~4月17日に第一報報告のあったもの)

No	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
76	B-07000276	女性	50歳代	150mg		痙攣 外傷性仮死 脳症	不明 回復 (後) 未回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル投与開始。一回服用後、痙攣、意識レベルの低下発現。本剤投与中止。 翌朝、普段と変わらない状態を確認後、食事。その後、食事をのどに詰り倒れているところを発見。
77	B-07000277	不明	小児	不明		譫妄	回復	インフルエンザA型と診断されリン酸オセルタミビル処方。服用5日目に譫妄の症状が発現し入院。入院時インフルエンザウイルスは陰性。服用6日目、譫妄は回復。
78	B-07000278	男性	10歳未満	88mg		異常行動	回復	インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル投与開始。翌日、異常行動発現。その後回復。
79	B-07000282	男性	10歳未満	不明	塩酸レセルピリン酸ジメチル アミノエチル ヒベンズ酸チペピジン 塩化リゾチーム アセトアミノフェン 塩酸プロムヘキシシ	異常行動	軽快	リン酸オセルタミビル投与後30分後、口を嘔むようなしぐさを繰り返す。服用3時間後、多弁、幻覚、物を取るようなしぐさを発現。同日夕方、入院。脱水傾向もあり。体温38.8℃。翌日、軽快。
80	B-07000285	女性	10歳未満	不明		痙攣	回復	インフルエンザの疑いの為、リン酸オセルタミビル投与開始。熱性痙攣発現。インフルエンザは陰性。熱性痙攣回復。
81	B-07000287	女性	50歳代	75mg		落ち着きのなさ	回復	インフルエンザA陽性であり、症状の訴え強いため、リン酸オセルタミビル75mg服用後、透析開始。服用20分後、息苦しさ出現。SpO2 90%。O22リットル開始後、98%に改善するが、その後起座呼吸。不穏状態となる。胸部レントゲン上(透析1時間後)うっ血を認める。服用1時間後、心不全、不穏の為、入院。
82	B-07000289	女性	10歳代	150mg		意識消失 痙攣 意識消失	回復 回復 回復	診察時38.4℃。インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル5日分処方。服用終了後、解熱。服用終了2日目、意識喪失し、痙攣発現。その日のうちに受診。意識喪失、痙攣回復。服用終了3日目、再度、食事中意識喪失で2、3分倒れる。意識喪失回復。神経内科に検査のため入院(1週間)。検査では異常は認められなかった。
83	B-07000290	男性	高齢者	150mg		妄想	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル処方。翌日、精神異常(妄想)発現。常に後ろから誰かに邪魔されている、邪魔されている人から逃げる。逃げ切った後に急にその人が前に現れるといった症状が、本剤服用後に確認された。本剤服用中止。症状回復。
84	B-07000293	男性	10歳未満	不明		異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル4日分処方。服用開始2日目、熱はなし。服用開始3日目、突然泣き出す等の異常行動発症。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例(その2)(平成19年3月21日~4月17日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
85	B-07000899	男性	10歳代	75mg		激越	回復	発熱39.2℃。インフルエンザB型診断にて、リン酸オセルタミビル服用開始。本剤75mg服用した夜に興奮(興奮してあばれた)発現。患者の家族からTELがあり、その後は本剤は服用していない。
86	B-07001281		10歳未満	112.5mg		睡眠驚愕 悪夢	軽快 軽快	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用による幻覚がトラウマになり、悪夢、夜驚症が発現。 インフルエンザ発症から約2ヵ月後、副作用の訴えからジアゼパム処方。悪夢、夜驚症軽快。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例(その3)(平成19年4月18日～5月31日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日投与量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
1	B-07001353	女性	10歳未満	22 mg	耐性乳酸菌製剤(2) ロートエキス散 塩化リゾチーム 塩酸シプロヘプタジン	異常行動 筋力低下	回復 回復	インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。同日昼食後に本剤内服し、程なく立って歩こうとするが、フラフラしてすぐに転ぶといった両下肢脱力、大声で叫ぶ症状が発現。熱は38～39℃。異常行動は覚醒時に発現の様子。同日夕方、これら2症状は消失し回復。その後、本剤中止。
2	B-07001357	女	30歳代	150mg	トラネキサム酸 カルボシステイン	幻聴	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル投与開始。同日夜、首のかゆみ、幻聴(話し声、戸の開く音、スリッパの音)、殺されるようなこわい夢をずっとみていた。エチゾラム投与により回復。
3	B-07001360	男	10歳未満	不明		異常行動	回復	A型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル投与開始。服用1時間後、約30分泣いたり、父親に殴りかかった(叩いた)という異常行動発現。その後異常行動は治まり、以後本剤2回内服したが異常行動はなかった。異常行動軽快。その後服用中止。
4	B-07001362	女	60歳代	150mg		意識レベルの低下 異常感	回復 回復	インフルエンザA型に対して、リン酸オセルタミビル処方。同日昼1回目服用し、同日夕方、意識障害、ぼーっとするといった症状発現。その後、本剤は内服せず。
5	B-07001419	男性	20歳代	150 mg		うつ病 自殺念慮	回復 回復	風邪症状にて受診し、インフルエンザB型の診断を受け、リン酸オセルタミビル4日分処方。2回目服用開始後くらいより、気持ちが落ちて自殺したくなる感じなどのうつ状態発現。本剤服用終了4日後、気持ちも落ち着いた。本剤服用終了7日後、再び気持ちが落ち込んだ。うつ状態で自殺念慮もあるため、スルピリド処方。本剤服用終了9日後、頭部MRIは正常。本剤服用終了11日後、脳波は前頭部に徐波あり。
6	B-07001423	女性	50歳代	150 mg		頭痛	回復	インフルエンザAと診断され、リン酸オセルタミビル処方。体温:38.5℃。本剤4日間服用し、解熱し体調良好となる。 インフルエンザの転帰:軽快・回復。 本剤服用終了5日後、突然に左側頭～左後頭部にシビれる様な頭痛発現。以前にあった片頭痛とは異なる頭痛であった。鎮痛剤服用するも頭痛強く、入院。頭部CT所見なし。その後、処置にて軽快。
7	B-07001524	男性	60歳代	150 mg		認知症	回復	3日前、発熱あり。 インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。 服用開始3日目、幻覚、認知症の悪化発現。幻覚の内容は「周りに女の人がいって集団見合いをしている」といったもの。その3日後、幻覚軽快。本剤服用後しばらくは認知症の程度が強くなった。さらに2日後、認知症の悪化も回復。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例(その3)(平成19年4月18日~5月31日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日投与量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
8	B-07001663	男性	10歳代	120 mg	カルボシステイン アセトアミノフェン	譫妄	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル5日分投与開始。服用1日目、異常な行動はなかったものの、「お父さんがお母さんを殺そうとしている」など、非現実的な事を話していた。せん妄発現。 翌日、せん妄回復。 服用5日目に服用終了。
9	B-07001665	女性	10歳未満	87 mg		異常行動 幻覚	回復 回復	インフルエンザ疑いのため、リン酸オセルタミビル処方。異常言動、幻覚発現。本剤服用終了。 6日後、異常言動、幻覚回復。
10	B-07001669	女性	10歳未満	60 mg		痙攣	回復	インフルエンザB型に対して、リン酸オセルタミビル5日分処方。同日朝、38.5℃。本剤1回目服用。同日昼、39.4℃。同日夜、2回目服用30分後、全身痙攣5分間。意識有り、やや軽い痙攣。服用1時間半後、39.5℃ 全身痙攣5分間、意識有り、やや軽い痙攣。アセトアミノフェン坐剤を使用。服用2時間半後、39.2℃ 痙攣5分間。服用3時間半後、38.4℃。痙攣5分間、意識有り。痙攣強。幻覚あり(ママの目が真っ赤でこわいと言う)。服用6時間半後、36.2℃。痙攣2分間、幻覚あり。本剤投与中止。 中止1日後、症状回復。
11	B-07001708	男性	不明	不明		パーキンソン病	未回復	大腸ポリープの手術を行った後、インフルエンザに罹り、リン酸オセルタミビル処方。服用翌日、パーキンソン病発現。現在も治療中。
12	B-07001731	女性	60歳代	75 mg	臭化水素酸デキストロメ ルファン ロラゼパム クロキサゾラム	意識消失	回復	インフルンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。食事中、腹痛、気分不快になり意識消失(5分間程)。尿失禁あり。その後回復。
13	B-07001737	男性	10歳代	150 mg	セフテラムピボキシル 臭化水素酸デキストロメ ルファン アセトアミノフェン	異常行動 異常行動	回復 回復	インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用後、夜間に自分の頭をたたく等の異常行動が発現。服用2日目、再び本剤服用。夜間に同様の異常行動発現。服用3日目、異常行動回復。
14	B-07001738	男性	10歳未満	144 mg	セフジレンピボキシル カルボシステイン d-マレイン酸クロルフェニ ラミン トラネキサム酸	異常行動	回復	39.0℃の高熱があり、検査結果では+/-であったが、インフルエンザ疑いのため、リン酸オセルタミビル処方。1回目服用後、すぐに高揚し、不可解な行動をするなどの異常行動を発現。 翌日、回復。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例(その3)(平成19年4月18日~5月31日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日投与量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
15	B-07001739	男性	70歳代	150 mg	クロルプロマジン・プロメタジン配合剤(2) 酒石酸ソルピデム ピコスルファートナトリウム 塩酸アミトリプチリン アルプラゾラム メフェナム酸 臭化プロパンテリン・クロロフィル配合剤(2)	意識レベルの低下	不明	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用3日目、意識障害発現。
16	B-07001747	女性	10歳未満	36 mg		痙攣	回復	40℃近い発熱あり。インフルエンザB型陽性であったため、リン酸オセルタミビル処方。同日夕方、本剤1回服用。体温:39.6℃。意味不明なことを言い出すなどの意識障害、幻覚発現。服用2時間後、痙攣発現。救急車にて搬送。到着時は意識ははっきりしていた。体温:39.4℃、解熱剤投与し、帰宅。帰宅後も頭痛、腹痛、嘔吐あり。翌朝、痙攣、意識障害、幻覚回復。1回服用から翌朝までの記憶はなかった。
17	B-07001805	男性	10歳未満	35mg	アセトアミノフェン ジアゼパム リン酸ジメモルファン カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン	痙攣	未回復	午後より発熱、けいれんを2回程発症。その後、インフルエンザA型治療のためリン酸オセルタミビル処方。1回服用後もけいれんを認める。38.8℃。服用2日目、入院。服用3日目、夜、発熱は続き、数秒~10数秒のけいれんが頻発。
18	B-07001807	女性	10歳未満	60 mg	ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン 非ピリン系感冒剤(2)	痙攣	回復	体温:38.5℃。インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。服用開始3日目、インフルエンザの軽快・回復。深夜、すでに解熱。服用開始4日目、計6回服用後、30分くらいの発作あり。ひきつけなのか悪夢をみたのか不明。その後、就寝中にうなり声を聞いた。その翌朝、ふだんと変わらず。
19	B-07001808	男性	10歳未満	136.2mg	ドンペリドン	異常行動	回復	37℃の発熱、咳、咽頭痛が朝よりあったため、感冒剤服用。同日夜、38.3℃に上昇。嘔吐もあったので、救急受診し、インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用時、38.3℃。服用1~2時間後、寝たままで最初手足をピクピクさせ、ワーと大声で泣き叫び、全身の筋肉を硬直させ、眼は大きく見開いて一点を凝視した。2~3分持続。反応中は意識不明。5分後、意識回復。その後も、ぐずったり、泣いたりして熟睡してはなかった。38℃台の高熱あり。服用開始2日目の朝、夕方、服用3日目の朝いずれも、38℃台~41℃の発熱あり。いずれも本剤服用1~2時間後に、毎回、同様の異常行動が発現。本剤中止。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例(その3)(平成19年4月18日～5月31日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日投与量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
20	B-07001809	男性	30歳代	不明	アトルバスタチンカルシウム水和物	意識消失	未記載	リン酸オセルタミビル服用。車の運転中に一瞬自分が何をしているのか分からないような状態に陥った。意識消失が発現。
21	B-07001811	男性	10歳未満	不明		意識レベルの低下	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。2回目服用1時間後、意味不明な発言、突然笑い出すなどの症状などの意識障害発現。同日、服用終了。服用終了後3日目、意識障害回復。
22	B-07001812	女性	10歳未満	99 mg	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸アンブロキシール 塩酸シプロヘプタジン 塩酸ツロブテロール	異常行動	回復	インフルエンザB型陽性のため、リン酸オセルタミビル処方。服用開始2日目、解熱。就寝後に手をばたばたさせ、イヤダイヤダとさわぐ。服用3日目、夜、前夜と同様のエピソードが2時間置きの頻度で発現。服用4日目、服用中止。
23	B-07001892	女性	40歳代	150mg	アセトアミノフェン	味覚異常	不明	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用開始3日目、夕方、味覚障害発現。服用開始4日目、嗅覚障害発現。水様下痢もあり。
24	B-07001894	女性	10歳未満	105 mg	ヒベンズ酸チペピジン アセトアミノフェン カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン	痙攣	軽快	A型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用3時間半後、けいれん(軽微)発現。インフルエンザによる発熱あり。けいれん軽快。
25	B-07001906	不明	80歳代	150 mg		認知症	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。うなったり暴れたりということが見られ、その後、訳のわからないことをいうなど痴呆症のような状態となる。精神神経異常発現。本剤投与中止。インフルエンザ発症前(本剤服用前)は、痴呆症なし。投与中止翌日、精神神経異常回復。
26	B-07002053	女性	10歳未満	不明	アセトアミノフェン	痙攣 異常行動	回復 回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。痙攣、声を発するなどの異常行動が発現。
27	B-07002054	男性	10歳未満	40 mg		異常行動	回復	診察時から興奮気味。インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。同日夕方、服用後、おかしな発言を繰り返す(こわいこわいと言っている)。睡眠中、夜には一度熱が下がり、症状は落ち着く。服用開始2日目、朝、再び発熱。本剤服用しないが、気分高揚し、妹と遊んでいる最中にはさみで妹の指を傷つけた。服用開始3日目、異常行動回復、インフルエンザ軽快・回復。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例(その3)(平成19年4月18日~5月31日に第一報報告のあったもの)

No	識別番号	性別	年代	一日投与量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
28	B-07002073	女性	10歳代	150 mg	クラリスロマイシン 臭化水素酸デキストロメ ルファン カルボシステイン 開始液(1)	大発作痙攣	不明	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用開始4日後、朝、本剤減量。外来受診時(38-39°C出現、咳も強い)胸部x-p撮影中にGTC(全身性強直間代けいれん発作)5秒。その後、1分後に意識もどした。胸部x-p上気管支影の増強はみられたが、明らかな肺炎臓はなかった。
29	B-07002190	女性	10歳未 満	180mg		嘔吐 傾眠	軽快 軽快	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル5日分処方するも、同日夕、5日分を1回ですべて服用。服用1時間後、嘔吐発現(数回)。嘔吐発現から1時間後、傾眠発現。救急外来受診。胃洗浄、輸液。入院。その4日後、嘔吐、傾眠軽快。
30	B-07002262	女性	60歳代	150 mg	アセトアミノフェン クラリスロマイシン 臭化水素酸デキストロメ ルファン セラペプターゼ 塩酸アンプロキシソール カルボシステイン 酒石酸ゾルピデム	うつ病	軽快	インフルエンザB型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。本剤を服用するとうつ状態となり、死にたいという気持ちが強くなり、手首を切ろうかと思いつめた。3回目までの服用したが、あまりに症状がきついで、本剤服用中止。中止後、症状軽快するも、中止1ヵ月後、うつの症状が抜けきらず、夜も眠れないとのこと。
31	B-07002263	男性	10歳代	150 mg	アセトアミノフェン	統合失調症 様障害	不明	インフルエンザBと診断され、リン酸オセルタミビル処方。服用6日目、朝の服用にて、服用終了。そのころから、言動に総合性が無くなった。意識は清明、見当識ありだが、会話に混乱あり。服用終了2日後、急性混乱状態発現。神経学的には明らかな脱落症状なし、MRI、ルンバールを施行。脳炎、髄膜炎を示唆する所見なし。統合失調症を疑う。
32	B-07002264	男性	10歳未 満	150 mg		異常行動	回復	インフルエンザの診断にて、リン酸オセルタミビル処方。同日夕方より服用開始。服用2日目、発熱持続。朝、夕服用。その夜、就寝していたところ急に足をバタバタさせ、その後「おしっこに行きたい」と話しトイレへ。排尿をすませた後走って戻り、何か早口で喋り(家人に内容は分からなかったとのこと)再度就寝。異常行動ではないかと救急受診。受診時意識清明、見当識良好、神経学的異常所見なかったが、家人の心配が強いため、入院の上、経過観察とした。本剤服用中止。入院後は何事もなく解熱。
33	B-07002309	男性	10歳未 満	不明		異常行動 霧視	軽快 軽快	A型インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビル服用。2日で解熱。約1ヵ月後、再度、A型インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビル服用開始。ふすまをかじる、目の焦点が合っていないなどの症状が発現。入院となる。症状軽快。翌日、解熱、輸液投与。インフルエンザ症状軽快。通常どおり受け答え。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例(その3)(平成19年4月18日～5月31日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日投与量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
34	B-07002383	男性	20歳代	150 mg		痙攣	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。痙攣発現。
35	B-07002390	男性	10歳代	150 mg	鎮咳配合剤(1)	異常行動 浮動性めまい 転倒 損傷	回復 回復 回復 回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用1日目、転倒、頭部外傷、ふらつき発現。体温:38.4℃。 服用2日目、異常行動発現。頭部外傷、4針結合。 服用5日目、朝服用。その後は、本剤服用せず。
36	B-07002665	男性	不明	78 mg	ヒベンズ酸チペピジン フマル酸クレマスチン カルボシステイン アセトアミノフェン	譫妄	回復	インフルエンザの診断にて、リン酸オセルタミビル処方。同日夜半、意識が朦朧となる。呼びかけてもはっきりせず家族が「異常行動か?」と考え、本剤服薬中止させたところ、意識回復。
37	B-07002666	男性	10歳代	150 mg	ロキソプロフェンナトリウム 鎮咳配合剤(1) アセトアミノフェン	攻撃性	回復	インフルエンザB型の診断にて、リン酸オセルタミビル服用開始。 服用開始3日目、掃除機を振り廻し、食器類を破損するといった異常行動 暴力行為が発現。直ちに本剤を中止。 中止翌日、解熱し、落ち着かない状態。インフルエンザは軽快。
38	B-07002855	女性	10歳未満	不明		痙攣	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。 夜、本剤内服後、痙攣にて夜間診療所に搬送。
39	B-07002947	男性	10歳未満	36 mg	カルボシステイン ヒベンズ酸チペピジン	痙攣	回復	インフルエンザA陽性と診断され、夕方より、リン酸オセルタミビル服用開始。服用1時間30分後、けいれん発作発現(1分程で停止)。服用2時間後、受診。けいれん発作おちついており処置なし。念のため本剤服用中止。 投与中止3日後、病状軽快。
40	B-07002949	女性	70歳代	150 mg	セフミノクスナトリウム ニフェジピン マレイン酸エナラプリル トリクロルメチアジド スピロラクトン アスピリン・ダイアルミネート シンバスタチン ジクロフェナクナトリウム	幻覚 譫妄	回復 回復	高熱、咽頭痛、歩行困難あり、入院。インフルエンザ疑いのため、リン酸オセルタミビル投与開始。 翌日、朝より解熱。 投与開始5日目、深夜幻覚、譫妄発現。私服に着替え、夫の病室を訪問。「退院しよう」と誘うも、説得され帰宅。本剤投与終了。 翌日深夜も独りで夫の部屋を訪れ、「退院しよう」といい、説得されて、他の病室へ入室。その後、病室を出て、約1km離れた自宅に帰り、娘宅に電話する。夫がいないことを不審に思った由。 その3日後、幻覚、譫妄回復。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例(その3)(平成19年4月18日～5月31日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日投与量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
41	B-07002996	男性	10歳未満	120mg	アセトアミノフェン アセトアミノフェン	異常行動	軽快	インフルエンザB型と診断されリン酸オセルタミビル処方。夜、本剤服用。 投与開始2日目、朝、2回目服用し、再び受診。本剤は継続。夜、3回目服用。その後熱が40°Cまで上昇したので、アセトアミノフェン服用。その後、意味不明な言葉を発し、夜中、目の前がまぶしいと訴えまつげを抜き始めた。 投与開始3日目、家族より連絡をうけ、本剤中止し、受診。熱は39.2度。まぶしい、暑い、えらいを繰り返した。その後、異常言動のため入院。輸液のみの処置で経過観察。血液、脳波にインフルエンザ脳炎脳症を疑う異常所見はなし。 投与中止1日後、異常言動なし。本人は前日、前々日の異常言動を覚えていないとのこと。
42	B-07003012	男性	10歳未満	114 mg		痙攣	回復	B型インフルエンザの診断のもと、リン酸オセルタミビル処方。夜、本剤服用。深夜、本剤服用2時間後より、興奮状態、けいれん発現。目は半開き、ボーッとした状態(意識はある様子)。 翌朝、39.3°Cで、痰がらみの咳、鼻汁、かすれ声、咽頭発赤(軽度)あり。
43	B-07003013	女性	10歳未満	不明	セフトキシムプロキセチル アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。うわごとを言う、添い寝していた家族をける等の行動が発現。 投与開始2日目、本剤服用中止。
44	B-07003014	女性	30歳代	150 mg	コハク酸メチルプレドニゾロンナトリウム プロポフォール パニペナム・ベタミブロン 乾燥スルホ化人免疫グロブリン 塩酸ドパミン フェニトインナトリウム 濃グリセリン・果糖 塩酸ラニチジン ヘパリンナトリウム オメプラゾール	異常行動 意識変容状態	回復 回復	40°Cの発熱で受診し、インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。 投与開始2日目、夜、熱は下がってきたものの、意味不明な発言、奇声を上げる。すぐ受診するが、尿失禁などあり。1時間後、精査困難のため、救命救急に搬送。この時、MRIによる異常所見はなし。インフルエンザ脳症を疑い、入院し、ステロイドパルス療法施行。 投与開始3日目、異常行動、意識障害は回復傾向あり。 投与開始4日目、異常行動、意識障害回復。 投与開始5日目、本剤投与終了。
45	B-07003016	女性	20歳代	150 mg		意識消失	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。意識がなくなり倒れていた。 投与開始2日目、症状回復。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例(その3)(平成19年4月18日～5月31日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日投与量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
46	B-07003017	女性	80歳代	150 mg	アセトアミノフェン	妄想 幻聴	回復 回復	インフルエンザAに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。 投与開始2日目、妄想、幻聴発現。本剤投与中止。 投与中止2日後、妄想、幻聴回復。
47	B-07003019	女性	不明	36 mg	ヒペンズ酸チペピジン フマル酸クレマスチン カルボシステイン アセトアミノフェン	痙攣	回復	インフルエンザにて、リン酸オセルタミビル服用開始。朝、夜本剤服用。体温:39℃。 投与開始2日目、朝、夜、本剤服用。寝ている時、痙攣の様にピクピクする。 投与開始3日目、熱が下がったので本剤を自己中止する。その後、痙攣は出していない。
48	B-07003094	男性	10歳未 満	33 mg	フマル酸クレマスチン	痙攣	回復	インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。昼に本剤服用し、2時間半眠った。覚醒 後に手と首にふるえがみられ、はっきりと聞き取れなかったが歌を歌うような何を言っているかわか らない発語がみられた。痙攣、手と首のふるえ、意味不明な発語発現。2-3分ではっきりとして回 復。この時の体温は不明。本剤服用中止。 投与中止7日後、インフルエンザ回復。
49	B-07003187	女性	10歳未 満	不明		痙攣 譫妄 異常行動	回復 回復 回復	インフルエンザの検査を行うが陰性のため、解熱剤、抗菌剤等処方。夕方、熱が下がらないとのこ とで再度受診。体温40℃。検査はしなかったがインフルエンザと判断し、リン酸オセルタミビル処方。 夜、本剤服用。服用1時間以内にけいれん、うわ言、白目をむいた状態となる。けいれんに関しては それほど長くあったわけではないようだが、うわ言に関しては、若干長く言っていた様子。 翌日、症状回復。 なお、以前一度、本剤を服用したことがあったが、そのときは何もなかったとのこと。熱性けいれん は過去になし。
50	B-07003243	男性	10歳未 満	114 mg		痙攣	回復	A型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。本剤服用後10分以内に、全身性 痙攣発現し、同日回復。
51	B-07003478	女性	10歳未 満	78 mg		痙攣	回復	A型インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル投与開始。 投与開始3日目、ひきつけ、ケイレン発現(非重篤)。本剤投与中止。同日回復。
52	B-07003580	男性	10歳代	150 mg		異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。夜間、異常行動(あばれる)発現。押さえ つけていないといけない状態であった。 投与開始2日目、何でも出来てしまいそうな気持ちだったらしい。異常行動回復。 投与開始6日目にて本剤投与終了。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例(その3)(平成19年4月18日～5月31日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日投与量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
53	B-07003701	男性	30歳代	不明		痙攣	不明	リン酸オセルタミビル服用後、意識消失、痙攣発現。
54	B-07003702	男性	10歳未満	22.5mg		痙攣	未回復	インフルエンザ迅速検査陰性であったが、インフルエンザ罹患の可能性も考え、リン酸オセルタミビル処方。 また急性中耳炎治療後でもあり、滲出性中耳炎化も考慮し、抗菌薬等処方。 投与開始2日目、本剤2回目服用後、突然痙攣が始まり、緊急入院。なお、家族が本剤以外の併用薬は服用させていなかった。
55	B-07003777	男性	20歳代	75 mg		痙攣	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用。 翌朝、本剤服用後、意識障害、痙攣発現。一過性で10秒後に回復。
56	B-07003778	女性	40歳代	75 mg		異常行動	回復	A型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。 投与開始2日目、朝、自宅トイレにすわりこみ、床に頭を何度打ちつけているが、自分で止めることが出来ない。それが2回続いた。その後、意識(記憶)なし。家族の呼びかけで意識を取り戻す。
57	B-07003787	男性	10歳代	150mg	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸アンプロキシール d-マレイン酸クロルフェニ ラミン ドンペリドン アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型の診断にてリン酸オセルタミビル処方。本剤服用約2時間後、2回嘔吐あり。 投与開始2日目、朝、39.5℃。本剤服用。服用約4時間後から食欲低下あり。恐れる、泣くといった異常行動発現。普段はめそめそする性格ではないが、些細なことでめそめそして泣く。 投与開始4日目、再受診。35.6℃。副作用と思われる精神症状が認められたため、夕方の分より本剤投与中止。異常行動回復。
58	B-07003968	男性	10歳未満	不明		幻覚 失見当識	不明 不明	インフルエンザA型に対し、リン酸オセルタミビル服用。幻覚及び失見当識(父親を判別できない状態)が数時間発現。
59	B-07004082	女性	10歳未満	56 mg		恐怖 異常行動	回復 回復	インフルエンザA型との診断にてリン酸オセルタミビル処方。服用約2時間後、壁を見て「こわい、こわい」と怯えるため再診して入院。インフルエンザの熱せん妄の可能性もあり、入院しながら服用し、経過観察する方針で本剤28mg再投与。再び2時間後、「こわい、こわい、虫がいてる、やっつけて」と15分間怯えため、本剤中止。30分後、意識清明。(熱は39℃あった)

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例(その3)(平成19年4月18日～5月31日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日投与量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
60	B-07004165	男性	40歳代	150 mg	アセトアミノフェン リン酸コデイン(1%以下)	意識消失	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸セルタミビル、アセトアミノフェンを服用。夕方、電車の中にて意識消失発現。目撃者の話「白眼をむいて意識なし。数分で完全回復」。救急車にて搬送。到着時回復。CT正常化。 翌日、意識消失回復。
61	B-07004232	女性	50歳代	1 DF	塩酸フェキソフェナジン 臭化水素酸デキストロメ ルファン テプレノン	血圧低下 意識変容状 態	回復 回復	インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。夕、本剤服用後、咳がひどく痛くなった。体温は39℃台から36℃台に速やかに低下。夜、突然意識を失って転倒。家族が呼んでも反応なし。救急隊到着時、血圧低下、意識障害あり。外来到着時、血圧が低下していたが、徐々に上昇。まもなく覚醒したが、見当識障害が強くベッドからころげ落ちそうになるほど。明らかに異常行動の危険があると判断されたため、入院・経過観察とした。その後、3～4時間で全く普段通りに戻った。服用から2日目、血圧低下、意識障害回復。インフルエンザ軽快。

死亡症例一覧(その2)(平成19年3月21日～4月17日に第一報報告のあったもの)

No	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
1	B-06025952	女性	10歳未満	18mg	エチルコハク酸エリスロマイシン D-マレイン酸クロルフェニラミン 塩酸アンブロキシソール ヒベンズ酸チペピジン ツロブテロール	心肺停止	死亡	18:00インフルエンザ陽性。リン酸オセルタミビル18mg1回内服。翌3:00、「呼吸苦しそう」との連絡あった後、呼吸停止となり来院。挿管し、人工呼吸するも回復せず。救急車にて他院に搬送するも死亡が確認された。 [3月20日までの医療機関報告(精神神経症状)のNo.117に同じ]
2	B-07000062	男性	30歳代	150mg	麻黄湯	突然死	死亡	38℃の発熱あり。インフルエンザAの診断のため、リン酸オセルタミビルを処方。その場で服用。9時間後、2回目服用。普通に会話し、普通に歩いて寝た。深夜、家族が様子を見に行ったところ呼吸をしていないのに気づき、救急車を呼んだ。救急隊が到着した時には心肺停止状態。心肺蘇生を行うも改善せず、死亡が確認された。 死体解剖の結果、脳、胸部、腹部臓器に心肺停止をきたすような明らかな所見なし。
3	B-07000098	男性	10歳未満	70mg		脳炎	死亡	A型インフルエンザ罹患患者との接触があり、また化学療養中で免疫機能低下状態のため、感染予防目的でリン酸オセルタミビル投与開始。 敗血症発症。服用から3日目、髄膜脳炎を発症(細菌陽性)。 (合併:急性骨髄性白血病)
4	B-07000103	女性	20歳代	150mg	鎮咳配合剤(1) カルボシステイン 塩酸アンブロキシソール ロキソプロフェンナトリウム テオフィリン ツロブテロール フマル酸クレマスチン マレイン酸イルソグラジン ファモチジン ピオチアスターゼ2000配合剤(19) 塩酸シプロフロキサシン 塩酸テトラサイクリン スルピリン ケトプロフェン	心肺停止	死亡	咳、咽頭痛、鼻汁、38.2℃の発熱あり。インフルエンザB型と診断し、リン酸オセルタミビル処方。同日夜から嘔気が発現。服用2日目、立ちくらみのような症状あり、食べられず、薬も飲めず。服用3日目、血圧:110/68、体温:38.0℃。点滴治療を行い症状軽快。食事も摂れた。数時間後、嘔気軽快。 服用4日目も同様に、嘔吐発現し、点滴にて軽快。服用5日目、朝、救急車に搬送中に心肺停止。蘇生行うもなくなったとのこと。
5	B-07000104	男性	60歳代	75mg		痙攣	死亡	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル75mg服用。5時間後の翌未明、けいれん(全身性)発症。 [異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例(平成19年3月21日～4月17日に第一報報告のあったもの)(その2)No.28に同じ]

死亡症例一覧(その2)(平成19年3月21日~4月17日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
6	B-07000195	女性	20歳代	150mg		急性心不全 急性呼吸不全	死亡 死亡	発熱・咽頭痛・頭痛を認める。その3日目の朝、39℃の発熱。同日夜、インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビルを投与される。次の日、本剤内服するが、その後腹痛出現し、飲めなかった(1カプセル又は2カプセル服用後、中止)。投与開始3日目、体温35.9℃、腹部所見は心窩部に圧痛認めるものの腹壁soft。ゲル音正常。食欲なし。投与開始4日目、救急搬送される。腹部所見は前日と同様。月経痛で腰痛もありとの訴えあり。投与開始5日目、午前3時頃、四肢末梢にチアノーゼがあり。気管内挿管。人工呼吸、心マッサージ等を行うが、午前6時半頃、死亡確認。
7	B-07000196	女性	80歳代	75mg	クラリスロマイシン トラネキサム酸 塩酸アンプロキシソール 乳酸リンゲル液(マルトース加) 幼牛血液抽出物 アセトアミノフェン	心肺停止 低酸素症 胃腸出血	死亡 死亡 死亡	38.4度の発熱があり、インフルエンザA型インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビルを処方。その後自宅に戻った。同日夕方、本剤1カプセル服用。深夜0:30、心肺停止状態となり、救急搬送される。挿管、ボスミン静注で心機能は回復したが、肺機能が回復せず、人工呼吸器使用。救命措置により持ち直し、入院。その5日後、死亡。
8	B-07000230	男性	10歳未満	不明		死亡	死亡	インフルエンザに対し、リン酸オセルタミビル投与開始。夕方、本剤服用。その後、就寝。30分後、トイレ。1時間半後、うつ伏せで寝ていた。ぐったりして反応なし。病院に救急搬送されるも死亡。
9	B-07000245	男性	40歳代	150mg		自殺既遂	死亡	一年以上前、インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用。次の日、自殺。 [異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例(平成19年3月21日~4月17日に第一報報告のあったもの)(その2)No.70に同じ]
10	B-07000268	男性	10歳未満	27.5mg	アミノフィリン	肺水腫	死亡	受診時39.6度。インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。服用1時間後、起き再度入眠。服用2時間後、左側臥位で呼吸停止状態に気付かれ、救急搬送。服用3時間後、死亡。司法解剖で高度肺水腫(肺炎なし)、脳浮腫高度(脳ヘルニアなし)、microgliosis、星状突起断裂にて「インフルエンザ脳症と矛盾しない」とされた。
11	B-07000269	男性	30歳代	150mg	スルピリン	肺水腫	死亡	受診時37.5℃。B型インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビル処方。帰宅後本剤150mg服用し、就寝。翌朝、仰臥位、心肺停止状態で発見され死亡診断。剖検結果より、推定死亡時刻は就寝3時間後。主要所見としては、拡張し重い心(448g、炎症なし)、肺水腫(肺炎なし)、尿トリアージ検査陰性、血中トロポニン検査陰性。拡張型心筋症による急性左心機能不全と診断。

死亡症例一覧(その2)(平成19年3月21日~4月17日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
12	B-07000271	男性	50歳代	75mg	トシル酸スルタミシリン ジアゼパム 塩酸プロメタジン シメチジン ウルソデスオキシコール酸 オランザピン 非ピリン系感冒剤(4)	死亡	死亡	咳嗽、39度以上の発熱あり。インフルエンザA陽性と診断。服用時間不明。布団上で伏臥位で心肺停止状態。死亡。
13	B-07000407	女性	60歳代	75mg		突然死	死亡	インフルエンザ感染症に対し、リン酸オセルタミビル処方。死亡。突然死の疑い。
14	B-07000599	女性	60歳代	150mg		白血球数減少 肺炎	死亡 死亡	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。服用2日目、白血球減少が発現。肺炎増悪。同日死亡。
15	B-07001280	男性	40歳代	150mg		死亡	死亡	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル4日分処方。翌日、患者宅を家族が向かい倒れていることを確認。他院へ搬送され、死亡確認。(本剤を服用していたか確認できず)
16	B-07001284	男性	30歳代	150mg		死亡	死亡	インフルエンザ陰性であったが、リン酸オセルタミビル服用開始。服用4日目、具合が悪く、病院へかかろうとして車を運転し、その途中で交通事故となる。救急車が到着した時にけいれんを認めた。搬送時もインフルエンザ陰性であった。

死亡症例一覧(その3)(平成19年4月18日～5月31日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日投与量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
1	B-07001363	男	20歳代	150mg		突然死	死亡	リン酸オセルタミビルを投与。その後、突然死。
2	B-07003970	男性	10歳未満	不明		出血性ショック	死亡	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビルの投与を受け帰宅。帰宅後は発熱時に解熱剤を使用し、計2回、本剤服用した。未明、母親が男児の寝息のないことに気づき、救急要請。到着時、心肺停止状態。病院に搬送され、心肺蘇生術を施行。 翌朝、一時的に心肺再開したが死亡。死因不詳。死後約14時間後で司法解剖を行う。〔剖検所見〕腹腔内に暗赤色の流動血と凝血を約55mL認めた。胃内に暗赤色血液と凝血約20mLを認め、胃体上部は約6cmに亘り薄く軟化(操作中に損傷)、小腸、結腸内に暗赤色血液の充満を認めた。肺は含気泡沫の圧出は常、表面に溢血点を認めない。咽頭に浮腫を認めない。脳は実質的内出血、腫脹を認めない。

